

県展の歩み

第1回(22年)

【概要】洋画、日本画、彫塑3部門で始まる。出品作品345点のうち、洋画102点、日本画38点、彫塑6点が入選。日本画出品の3分の1が女性というのが話題となる。8日間の会期で約7千人の鑑賞者を集めた。

【会期】 11月9日～16日

【会場】 県水産会館(洋画)、県商工会議所(日本画・彫塑)

【審査員】 ▼洋画 山脇信徳、中村博 ▼日本画 島内松南、下司凍月、田岡耕作 ▼彫塑 濱口青果

【受賞者】 ▼洋画 知事賞 島野大作、市長賞 山本茂一郎、高知新聞社賞 中沢竹太郎、安岡旦 ▼褒状 有安隆、大原幸一 ▼日本画 知事賞 森木碩子、市長賞 宗田塩美、高知新聞社賞 横田照生 ▼褒状 和田薫 ▼彫塑 知事賞 塩見晴美

第2回(23年)

【概要】「文部大臣賞」制定が呼びびもので、山本茂一郎(洋画)と佐野馨山(日本画)が受賞した。ほかに高知県賞、高知市賞、高知新聞社賞が出ている。日本画に6尺ものがはつばつ見られ、洋画は50号から100号まで。全般的に出品作品のレベルはまだそう高くない、粒がそろわない。

【会期】 10月31日～11月7日

【会場】 高知市議事堂(洋画・彫塑)、県商工会議所(日本画)

【審査員】 ▼洋画 山脇信徳、石川寅治、中村博 ▼日本画 島内松南、下司凍月、田岡耕作 ▼彫塑 濱口青果、渡辺一八大

【受賞者】 ▼洋画 文部大臣賞 山本茂一郎、高知県賞 町田武雄、高知市賞 有安隆、高知新聞社賞 左京武允 ▼褒状 安岡旦、島野大作、大原幸一、岡村万作、河添稲美 ▼日本画 文部大臣賞 佐野馨山、高知県賞 和田薫、高知市賞 森本桜霞、高知新聞社賞 古谷暁洋 ▼褒状 小南香堂、森木碩子、横田照生 ▼彫塑 高知県賞 横田照生、高知市賞 森田敏彦 ▼褒状 河津真斎

第3回(24年)

【概要】審査員は県内在住者だけ。出品数は増える。洋画250点(入選84点)、日本画85点(入選50点)、彫塑18点(入選5点)。石川寅治の「裸婦」が展示された。「特選・褒状」制度ができる。また作家の層が薄く、いい作品は特定の作家のものに限られる。

【会期】 10月30日～11月6日

【会場】 高知市議事堂(洋画・彫塑)、県商工会議所(日本画)

【審査員】 ▼洋画 山脇信徳、中村博 ▼日本画 島内松南、下司凍月、田岡耕作 ▼彫塑 濱口青果、渡辺一八大

【受賞者】 ▼洋画 特選 岡村万作、島野大作、山本茂一郎、有安隆、河添稲美 ▼褒状 今城啓、大原幸一、町田武雄、末次武茂、横矢勝 ▼日本画 特選 堀内松琴、矢野義旻、門谷南嶺、森本桜霞、吉田利彦 ▼褒状 岡本文斎、横田照生、和田薫、森木碩子、武市瑞邦 ▼彫塑 特選 横田照生

第4回(25年)

【概要】 洋画審査員に向井潤吉を迎える。特別出陳としてロダンの彫刻「鼻のつぶれた男」、マイヨールの彫塑「裸女」も飾られ、鑑賞者を喜ばせた。また名画の原色複製版も展示され、会場はにぎやかになった。

【会期】 10月28日～11月5日

【会場】 高知市議事堂(洋画)、県商工会議所(日本画・彫塑)

【審査員】 ▼洋画 山脇信徳、中村博、向井潤吉

日本画 島内松南、下司凍月、田岡耕作、中島敬朝

彫塑 濱口青果、渡辺一八大

【受賞者】 ▼洋画 特選 横矢勝、大原幸一、見元清子、有安隆、山本茂一郎▽褒状 森和、今村周平、田上正文、山原義彦、島野大作、町田武雄、吉田遊亀

▼日本画 特選 和田薫、武市瑞邦、横田照生、矢野義旻▽褒状 堀内松琴、奴田原松嶺、吉田利彦、門谷南嶺、古谷暁洋

▼彫塑 特選 横田照生、河津真斎

▽褒状 中山雅恵、小野貞秋

第5回(26年)

【概要】 洋画、日本画出品作品は表現、色彩とも豊かになる。しかしまだ全般的に題材のとらえ方は甘い。彫塑も技術的な基礎訓練の段階。当時は会期に入ってから入賞者を決めるといやり方をしてきたので、入選者は会場で、その決まるのに一喜一憂していた。推薦(前年の特選)制度ができる。写真展開始する。

【会期】 10月28日～11月5日

【会場】 高知市議事堂(洋画)、県商工会議所(日本画・彫塑)

【審査員】 ▼洋画 山脇信徳、中村博、筒井広道

日本画 島内松南、中島敬朝、下司凍月、田岡耕作

彫塑 濱口青果、渡辺一八大

【受賞者】 ▼洋画 特選 中沢竹太郎、黒原和男、正延正俊、福富栄、森和▽褒状 今村周平、土居発、大野龍夫、吉井英二、吉田遊亀、安岡旦

▼日本画 特選 久保芳翠、奴田原松嶺、小島松香、古谷暁洋

▽褒状 門谷南嶺、山本梅尾、内田喜美子、森本桜霞、井上高志

▼彫塑 特選 土居正臣、浜田昇▽褒状 井上健一、片岡福光、近藤博彦、中山雅恵

第6回(27年)

【概要】 1月21日、洋画の山脇信徳死去。その業績をたたえて洋画に「山脇賞」を設定。30歳までの画家で受賞歴のない有望新人に贈られる賞。初の受賞者は坂田和。会場には山脇信徳の遺作「伊太利風景」土佐のさわち料理」が飾られた。新しく審査員に島村治文(彫塑)。洋画に超現実主義、抽象的表現の作品が目につくようになる。中央画壇の影響も感じられた。招待に石川寅治、上島一司、高橋虎之助、依光恒喜、洪川榮志、無鑑査に山本茂一郎、島野大作、和田薫、横田照生。

【会期】 10月31日～11月9日

【会場】 高知市議事堂(洋画)、県商工会議所(日本画)、高知会館(彫塑)

【審査員】 ▼洋画 中村博、筒井広道

▼日本画 島内松南、中島敬朝、下司凍月、田岡耕作

▼彫塑 濱口青果、渡辺一八大、島村治文

【受賞者】 ▼洋画 特選 濱口富治、片木太郎、山本茂一郎、島野大作

▽褒状 坂田和▽褒状 今村周平、大原幸一、横矢勝、横矢寛、高野朗、安岡旦

▼日本画 特選 門谷南嶺、和田薫、北村文和▽褒状 矢野義旻、横田照生、武市瑞邦、宮田鹿敏、山本梅尾

▼彫塑 特選 横田照生▽褒状 石本征華、中山いと、中山雅恵

第7回(28年)

【概要】書道、工芸の参加で5部門に膨らむ。審査員に藤井二郎(洋画)、三輪晃勢(日本画)を迎える。日本画褒状の受賞者のうち、大野長一、小島松代、西本信雄の3氏には、特に三輪奨励賞が出た。入選20点と増える。前夜祭では、仮装したり、フラダンス、ミス・ミスター県展も登場、車による街頭デモンストラ

【会期】11月1日~10日

【会場】高知市議事堂・県労働会館(洋画)、県商工会議所(日本画・工芸)、文教会館(彫塑)、高野寺会館(書道)

【審査員】洋画 藤井二郎、筒井広道 日本画 中島敬朝、三輪晃勢、下司凍月 彫塑 濱口青果、渡辺一八大、島村治文 工芸 田所芳秋、森光喜、秦泉寺正一 書道 川谷横雲、竹村子雀、高松慕真

【受賞者】洋画 特選 吉井英二、森和、中沢竹太郎、黒原和男、笹岡久明、永吉鉄夫 山脇賞 矢野川滝男 褒状 井手孝教、高野朗、横山正、中城克巳、竹村文男、田上正文、岡林流仙、横矢寛、吉田茂嘉、河添稲美 日本画 特選 宮田鹿敏、武市瑞邦、山本梅尾 褒状 吉田利彦、西本信雄、小島松代、大野長一、井上高志、矢野義受 彫塑 特選 中山いと 褒状 近藤博彦、河津真京、片岡福光 工芸 特選 岡崎亀太郎、岡本文斎 褒状 渡辺善介、北村文和、市川政一、秦泉寺むら子、横田稲城、前田松雄、川田利彦 書道 特選 谷紅雀、福原云外、沢田明子 褒状 黒原保、中田子龍、高橋方広、中田雀邑、竹内正七、森下郁子

第8回(29年)

【概要】写真が加わり6部門となる。会場も1部門1会場を占めるようになった。審査員は県外から3氏、須田国太郎(洋画)、三輪晃勢(日本画)、吉田潤(写真)。県内で光本三千萬(書道)。作品の水準が安定、土佐高生ら10代作家も活躍、女性作家も増えて名物の文化行事になってきた。催しとして入場者に県展作家の色紙短ざくの抽選贈呈、前夜祭の県展カーニバルなど。「美術館が欲しい」という声も出始める。この年、無鑑査制が採用され、特選3回以上の者を無鑑査とした。洋画で山本茂一郎、島野大作、中沢竹太郎、日本画で和田薫、門谷南嶺、彫塑で横田照生。これに伴い、取得年次は3回目の特選受賞年に置き換えて記載した。書道の川谷横雲死去。

【会期】10月30日~11月8日

【会場】高知市議事堂(洋画)、県商工会議所(日本画)、文教会館(彫塑)、県労働会館(工芸)、高野寺会館(書道)、高知保護会館(写真)

【審査員】洋画 須田国太郎、中村博、筒井広道 日本画 下司凍月、田岡耕作、三輪晃勢 彫塑 渡辺一八大、島村治文 工芸 田所芳秋、森光喜 書道 竹村子雀、高松慕真、光本三千萬 写真 吉田潤

【受賞者】洋画 特選 中城克巳、吉本信、扇谷幸義、笹岡信彦、坂田和 山脇賞 森田昭一 褒状 森岡延雄、細木仁、寺尾孝志、島村義一、橋田憲明、岩合泰治、山六郎、大平武夫、片木太郎、吉田茂嘉 日本画 特選 門谷南嶺、小松豊栄 褒状 西本信雄、内田喜美子、大野長一、矢野義受、並村菊子 彫塑 特選 片岡福光 褒状 竹本次男、坂本至史、矢野川滝男 工芸 特選 渡辺善介 褒状 門田成耕、川田利彦 書道 特選 中田雀邑、長尾天外 褒状 黒原雲峰、岡崎瑞雲、矢野道子、中田子龍 写真 特選 明神稔、浜口道春、岩川雄幸 褒状 高田晃、弘田博敏、大家好重、中林靖順、田口吉明、浜口道春、八井田敏、黒原龍城、岡村治

第9回(30年)

【概要】県外から審査員に三輪晃勢(日本画)、浜谷浩(写真)を招き、県内審査員に谷脇溪翠(書道)が加わった。洋画は次第に抽象表現へと傾き、意欲があふれてきた。日本画も洋画風、斬新な手法が加わる。書道もまじめな制作態度がみなぎり、特に谷紅雀、沢田明子女流2人の2回目の特選が目された。写真はまだレベルが低く、モチーフの解釈と表現技術が未熟。無鑑査に黒原和男、武市瑞邦。

【会期】10月29日~11月7日

【会場】高知市議事堂・県労働会館(洋画)、高知商工会議所(日本画)、高知保護会館(彫塑・工芸)、高野寺会館(書道)、文教会館(写真)

【審査員】洋画 中村博、筒井広道 日本画 三輪晃勢、中島敬朝、田岡耕作、下司凍月 彫塑 渡辺一八大、島村治文 工芸 森光喜、秦泉寺正一 書道 谷脇溪翠、竹村子雀、光本三千萬 写真 浜谷浩

【受賞者】洋画 特選 黒原和男、松木英侍、宮本初義、細木仁、片木太郎、竹村文男 山脇賞 該当なし 褒状 猪野秀子、山六郎、笹岡義彦、島村義一、近藤精一、小島満雄、高崎元尚、森和、高野朗 日本画 特選 西本信雄、武市瑞邦、井上高志 褒状 宮田鹿敏、山本梅尾、森本桜霞、塩田滯子、内田喜美子 彫塑 特選 江洲猪都美 褒状 近藤博彦、伊藤昌利、横田靖生、多田誠七 工芸 特選 市川政一、門田成耕 褒状 岡本文斎、黒瀬教一、吉村侑、秦泉寺むら子、北村文和 書道 特選 谷紅雀、沢田明子、磯部天池 褒状 森下草州、岡田六橋、中田子龍、矢野道子、村上蒼翠 写真 特選 田口吉明、新田進一、畑山裕紀、浜口澄之、岡部哲男 褒状 沢本一水、山本康博、山本百太郎、池内泉、清岡義道、中岡功、岡崎明、供田欣二、島村寿郎

第10回 (31年)

【概要】 10回記念展と銘打つ。審査員に県外から須田国太郎(洋画)、木村伊兵衛(写真)を招く。10回記念の催しとして、第1回以来の入賞作品が集められ、特別展として展示された。洋画はモダンアート、抽象画がぐんと増え、具象、抽象の論議が激しく戦わされた。

【会期】 10月27日～11月5日

【会場】 高知市議事堂・県労働会館(洋画)、高知商工会議所(日本画)、高知保護会館(彫塑・工芸)、高野寺会館(書道)、文教会館(写真)

【審査員】 ▼洋画 須田国太郎、中村博 ▼日本画 田岡耕作、中島敬朝、島内松南 ▼彫塑 渡辺一八大、島村治文 ▼工芸 森光喜、山六郎 ▼書道 竹村子雀、光本三千萬、谷脇溪翠 ▼写真 木村伊兵衛

【受賞者】 ▼洋画 特選 吉田茂嘉、宮地俊一郎、横矢勝、森岡滉、福富寿 ▼山脇賞 滝静雄 ▼褒状 高尾広一、水田隆積、笹岡信彦、大平武夫、中城克巳、橋田憲明、山六郎、田上正文、大野一郎、森和 ▼日本画 特選 山本梅尾 ▼褒状 矢野義旻、北村文和、宮田鹿敏 ▼彫塑 特選 中屋辰男 ▼褒状 伊藤昌利、近藤博彦、吉本信、中山郁 ▼工芸 特選 渡辺善介 ▼褒状 秦泉寺むら子、北村文和、黒瀬教一、前田松雄 ▼書道 特選 岡崎瑞雲、中田雀邑 ▼褒状 安藤盤水、竹内蒼空、中田子龍、森下草州、矢野道子 ▼写真 特選 中山明夫、山本康博、高橋健二、船本浩一郎、森岡盛一郎 ▼褒状 岸本宇根、伊藤淑子、橋本健、岸田康彦、島村徳子、高崎元尚、山崎保利、石坂道男、上野繁一、山本康博

第11回 (32年)

【概要】 会場が一つにまとまり、やっと総合展の形が出来上がる。審査員に三雲祥之助(洋画)、木村伊兵衛(写真)を招く。6部門1カ所となり、にぎやかになったが、ゆとりがないため狭苦しくもあり、会場はごった返し。312点が入選。搬入日、台風で搬入締め切りを延期。無鑑査に沢田明子、谷紅雀の女流書家2人。

【会期】 9月10日～23日

【会場】 高知大丸

【審査員】 ▼洋画 三雲祥之助、中村博、筒井広道 ▼日本画 田岡耕作、中島敬朝、下司凍月 ▼彫塑 島村治文、渡辺一八大 ▼工芸 秦泉寺正一、山六郎、森光喜 ▼書道 竹村子雀、光本三千萬、谷脇溪翠 ▼写真 木村伊兵衛

【受賞者】 ▼洋画 特選 岩合泰治、桑尾寿秋、松木英待、近藤精一、笹岡義彦 ▼山脇賞 川田久寿 ▼褒状 原信重、橋田昌幸、小野民代、片木太郎、梶原知子、田上正、能勢喜久美、寺尾孝志、貞広勝造、森田昭一 ▼日本画 特選 前田卓子、西本信雄 ▼褒状 内田喜美子、松本徳圃 ▼彫塑 特選 岩貞徳一 ▼褒状 小松常男、上田豊実、伊藤昌利、竹本次男 ▼工芸 特選 該当なし ▼褒状 市川政一、北村文和、秦泉寺むら子、門田成耕、上村鈴以 ▼書道 特選 磯部天池、黒原雲峰、沢田明子、谷紅雀 ▼褒状 安藤盤水、久保雲壽、中田子龍、矢野道子 ▼写真 特選 安岡栄、前田昇、川田博一、浜口喬夫、橋本太郎 ▼褒状 前田和子、高崎元尚、西川房吉、尾崎晋二郎、千頭芳男、三好五良、西村政雄、八井田敏、原孝士、田原早苗、田口吉明、大坪立男、尾原友助、岸本宇根、片岡竹次郎

第12回 (33年)

【概要】 入選作品も増え、6部門で312点となる。審査員に山口薫(洋画)、池田遙邨(日本画)、伊奈信男(写真)を迎える。日本画は堅実になったが、もつと近代性がほしい、写生をしっかりとという注文が審査員からあった。洋画、書道、写真に中央展への入選者が多かった。無鑑査に中田雀邑と工芸で初めての渡辺善介。

【会期】 9月23日～10月12日

【会場】 高知大丸

【審査員】 ▼洋画 山口薫、筒井広道 ▼日本画 池田遙邨、中島敬朝 ▼彫塑 渡辺一八大 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎 ▼書道 竹村子雀、光本三千萬、谷脇溪翠 ▼写真 伊奈信男

【受賞者】 ▼洋画 特選 竹村文男、原篤、濱口富治、合田徹、高崎元尚 ▼山脇賞 宮地一夫 ▼褒状 滝静雄、坂田和、島村義一、水田隆積、小松又十郎、高橋佳兄、横矢勝、吉田茂嘉 ▼日本画 特選 宮田鹿敏、小松豊栄 ▼褒状 内田喜美子、井上高志、矢野義旻 ▼彫塑 特選 小松常男 ▼褒状 岩貞博、中屋辰男、井上留繁、竹本次男 ▼工芸 特選 渡辺善介、門田成耕 ▼褒状 本田恭子、古谷真一郎、秦泉寺むら子、山本清吉 ▼書道 特選 安藤盤水、中田雀邑、岡崎瑞雲 ▼褒状 岩城研水、中田子龍、矢野道子 ▼写真 特選 杉本正、中林靖順、高崎元尚、南茂、町田耕一、佐竹一七 ▼褒状 山崎一雄、池上駿一郎、島村寿郎、岡政武、吉川宏男、三笠泰男、松村規、黒岩将臣、田内稔、岡村治、岡田文夫、三木史朗、今中直次郎、近藤房美、畑山裕紀

第13回 (34年)

【概要】 県民ホールを独立会場として、やっと落ち着いた雰囲気できた。2万6千人ほどの入場者があり、作品の方では作家層の若返りが特に目立った。各部門とも充実してきたが、まだ作家数は少ない。審査員に島海青児(洋画)、金丸重嶺(写真)を招く。無鑑査に矢野義受、磯部天池。

【会期】 10月24日～11月8日

【会場】 県民ホール

【審査員】 ▼洋画 島海青児、中村博 ▼日本画 下司凍月、中島敬朝 ▼彫塑 渡辺一八大 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎 ▼書道 竹村子雀、光本三千萬 ▼写真 金丸重嶺

【受賞者】 ▼洋画 特選 吉田茂嘉、田上正文、田村寿伸、吉田実、平岡幸宏 ▼山脇賞 山本実 ▼褒状 中屋一、横矢勝、吉田幸男、笹岡義彦、桑尾寿秋、山崎京子、山畑真人 ▼日本画 特選 矢野義受、内田喜美子 ▼褒状 大野長一、古谷暁洋、山本梅尾、前田卓子 ▼彫塑 特選 中屋辰男、竹本次男 ▼褒状 岩貞徳一、矢野川滝男 ▼工芸 特選 野本精治、柳原陸夫 ▼褒状 三谷末雄、黒瀬教一、森一康、山本清吉 ▼書道 特選 磯部天池 ▼褒状 中田子龍、黒原雲峰、矢野道子 ▼写真 特選 田内稔、川村春吉、大野敦英、栗山福美、島村寿郎、中島良弘 ▼褒状 大坪立男、島中巖、田所陸三、森岡盛一郎、川田博一、西村功、深瀬輝男、浜口道春、弘田博敏、松本賢一、足立泰男、清岡義道、古谷真一郎、山崎俊郎、池添龜太郎

第14回 (35年)

【概要】 県展も大勢の人に親しまれるレジャー時代となり、作品もベテランが充実、若手も目覚ましく進出して、42点が入選した。審査員に杉全直(洋画)、金丸重嶺(写真)を招く。洋画は各作品が個性的発言をするようになり、作家の主張が色濃く出てきた。対象も色はいま一歩だが、形の表現は向上した。彫塑も体の部分から次第に大きいものへと取り組む。無鑑査に横矢勝、濱口富治、竹村文男、宮田鹿敏、山本梅尾。

【会期】 10月22日～11月6日

【会場】 県民ホール、高知大丸(写真)

【審査員】 ▼洋画 杉全直、筒井広道 ▼日本画 下司凍月、田岡耕作、中島敬朝 ▼彫塑 島村治文、渡辺一八大 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、下司凍月(兼) ▼書道 竹村子雀、谷脇溪翠、光本三千萬 ▼写真 金丸重嶺

【受賞者】 ▼洋画 特選 上田明男、高野朗、横矢勝、濱口富治、竹村文男、宮地俊一郎 ▼山脇賞 谷岡久 ▼褒状 大平武夫、山崎京子、中城克巳、横矢寛、合田徹、岡野憲吉、高崎元尚、原篤、吉井英二、見元清子 ▼日本画 特選 宮田鹿敏、山本梅尾 ▼褒状 塩田淳子、前田卓子、井上高志 ▼彫塑 特選 小松常男 ▼褒状 青木健真、江渕猪都美、恒石義夫 ▼工芸 特選 三谷農水 ▼褒状 土居庄次、松代正一、秦泉寺むら子、安岡明夫 ▼書道 特選 安藤盤水、矢野道子 ▼褒状 栗田子鶴、東条春翠、西村翠雲、中平松鶴、岡崎瑞雲 ▼写真 特選 田口吉明、池添龜太郎、谷淵彰男、景山司郎、中越佐津季、川崎芳五郎 ▼褒状 松村一位、弘田博敏、恒石見志、滝口凡太郎、田中甲、山本武男、山崎茂幸、谷村稔、孕石錫太郎、吉川宏男、清岡義道、原孝士、笹内正実、大津修、今中直次郎

第15回 (36年)

【概要】 美術ブームが地についでくる。この年、県内審査員が5人生まれた。福富栄、山本茂一郎、島野大作、黒原和男(洋画)と磯部天池(書道)。それに柳原義達(彫塑)と浜谷浩(写真)を招く。作品は質が平均化してきたが、全般的に向上。一方ではマンネリ化の危険性も出てくる。15回記念として中村市へ移動展を行う。前衛土佐派が誕生。

【会期】 10月21日～11月5日

【会場】 県民ホール、高知大丸(写真)

【審査員】 ▼洋画 筒井広道、山本茂一郎、福富栄、島野大作、黒原和男 ▼日本画 田岡耕作、下司凍月、中島敬朝 ▼彫塑 柳原義達、渡辺一八大 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎 ▼書道 竹村子雀、光本三千萬、谷脇溪翠、高松慕真、磯部天池 ▼写真 浜谷浩

【受賞者】 ▼洋画 特選 大平武夫、貞廣英明、谷岡久、寺尾孝志、岡野憲吉、青木健真 ▼山脇賞 堀慎吉 ▼褒状 大野一郎、笹岡義彦、横山正、山崎京子、池本充明、須藤康夫、片木太郎、森田昭一、明神文雄、横矢寛 ▼日本画 特選 該当なし ▼褒状 岡林流仙、碓井義雄、内田恵子、前田卓子、北村文和 ▼彫塑 特選 青木健真、黒岩信男、多田誠七 ▼褒状 竹本次男、中山いと、恒石義夫、中屋辰男 ▼工芸 特選 田島征彦、田島征三、野本精治 ▼褒状 北村文和、山本清吉、柳原陸夫、松代正一、門田成耕 ▼書道 特選 竹内蒼空、西村翠雲 ▼褒状 浜田老松、中田九外、小西桃春、中平松鶴、吉原抱翠、東条春翠 ▼写真 特選 中林靖順、森田統二郎、川田博一、佐竹一七、高崎元尚、中山増三 ▼褒状 竹内清次郎、徳永均、岡村治、徳弘準市、土井嘉良一、南茂、石坂道男、高田孝次郎、渡辺良一、川村春吉、川田長孝、山脇哲臣

第16回(37年)

【概要】 大作化傾向が目立ち、洋画は半数以上が100号、書道も大作が多い。彫塑のレベルも上がり、工芸も単なる細工の域から抜けて美的感覚に貫かれた作品が出るようになった。写真はまだ技術的に未完成の点が目につく。審査員に浜谷浩(写真)を3度迎える。県内で横田照生(彫塑)、大野龍夫(工芸)、松岡雲峰(書道)が新しく加わる。この年から理事会(理事5人)が設置された。会場では色紙即売展もあり、にぎわう。無鑑査に片木太郎、宮地俊一郎、小松常男、写真で初の田口吉明。日本画の島内松南死去。

【会期】 10月20日～11月4日

【会場】 県民ホール、高知大丸(写真)

【審査員】 ▼洋画 筒井広道、福富栄、山本茂一郎 ▼日本画 下司凍月、田岡耕作、中島敬朝 ▼彫塑 渡辺一八大、横田照生 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、大野龍夫 ▼書道 竹村雀、光本三千萬、谷脇溪翠、高松慕真、磯部天池、松岡雲峰 ▼写真 浜谷浩

【受賞者】 ▼洋画 特選 岩合泰治、池正孝、上田明男、片木太郎、宮地俊一郎 ▼山脇賞 仲隆三 ▼喪状 池本充明、楠本正直、須藤康夫、小松明、堀慎吉、笹岡義彦、中村啓次郎、矢野川滝男、細川義彰、桑尾寿秋 ▼日本画 特選 前田卓子、岡林流仙、松本徳圓 ▼喪状 西本倍崇、井上高志、碓井義雄、並村菊子、上田明男 ▼彫塑 特選 小松常男、竹本次男 ▼喪状 町田祐一、中屋辰男、西川典重 ▼工芸 特選 黒瀬教一、柳原陸夫 ▼喪状 北村文和、山岸孝子、三谷農水、岡村聰、松代正一 ▼書道 特選 矢野道子、田中白歩、中田九外 ▼喪状 中平松鶴、岩城研水、安藤盤水、森瑞泉、黒原雲峰 ▼写真 特選 田口吉明、和田利夫、杉本正、田内稔、畑山裕紀、田辺寿男 ▼喪状 島内吉康、近藤房美、小野繁一、岡村治、清岡義道、川村晋一郎、森岡盛一郎、若松正二、竹内清次郎、南茂、島中巖、石坂道男、川西安一郎

第17回(38年)

【概要】 生活の中へ美術が溶け込んできて、入場者もごく自然のうちに鑑賞力が備わってきた。全般に作風は堅実だが「もっと個性を」という審査評も出る。県展自体、曲がり角にきているとの反省も出た。洋画では「具象の巻き返し」などと言われた。この年7月、日展高知展(2度目)があり、その影響が端的に県展へも表れる。写真ではカラーが増える。無鑑査に古谷暁洋、小松豊栄、中屋辰男、野本精治、中林靖順。

【会期】 10月19日～11月3日

【会場】 県民ホール、高知大丸(写真)

【審査員】 ▼洋画 筒井広道、福富栄、山本茂一郎、中沢竹太郎 ▼日本画 三輪晃勢 ▼彫塑 渡辺一八大、横田照生 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、大野龍夫 ▼書道 竹村雀、光本三千萬、高松慕真、磯部天池、松岡雲峰 ▼写真 渡辺義雄

【受賞者】 ▼洋画 特選 大野一郎、楠本正直、寺尾孝志、堀慎吉 ▼山脇賞 該当なし ▼喪状 池本充明、岡村久泰、公文功、小松憲一郎、高崎元尚、仲隆三、浜川勝春、長谷部正、二神敬之介、町田祐一、山崎龍助 ▼日本画 特選 古谷暁洋、上田明男、小松豊栄 ▼喪状 長野勲、内田恵子、関田美恵子、鍋島静子 ▼彫塑 特選 中屋辰男、岩貞徳一、青木健真 ▼喪状 多田誠七、田辺豊樹、堀内昭佑 ▼工芸 特選 北村文和、長尾善磨、野本精治 ▼喪状 三谷農水、田島征三、岡村聰、高橋潤、谷安男、山岸孝子 ▼書道 特選 岩城研水、川崎翠村、福原云外、松岡大峰 ▼喪状 北村華堂、栗田子鶴、谷脇梅翠、東条春翠、浜田清華、吉原抱翠 ▼写真 特選 栗師神清、中林靖順、窪内由高、大野敦英、徳弘準市、山本康博 ▼喪状 笹内政美、川崎芳五郎、島内吉康、大野一雄、南茂、中越佐津季、熊沢克郎、末久洋一、森田圭一、山崎茂幸、高田孝次郎、山脇哲臣、依田玄、前田英明

第18回(39年)

【概要】 搬入1千603点。審査員に再び渡辺義雄(写真)と県内から新しく濱口富治(洋画)、武市瑞邦(日本画)。若い人の作品が多くなる。特に工芸では商業美術、ポスター、レコード・ジャケットの類が極端に増え、彫金による特選も工芸として新しい話題。洋画は表現に迫力が出る。無鑑査に山本卓子、竹本次男、柳原陸夫、安藤雀栖、矢野道子。洋画の石川寅治死去。

【会期】 10月31日～11月15日

【会場】 県民ホール

【審査員】 ▼洋画 筒井広道、福富栄、山本茂一郎、中沢竹太郎、濱口富治 ▼日本画 下司凍月、中島敬朝、田岡耕作、武市瑞邦 ▼彫塑 渡辺一八大、横田照生 ▼工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、大野龍夫 ▼書道 竹村雀、光本三千萬、高松慕真、磯部天池、松岡雲峰 ▼写真 渡辺義雄

【受賞者】 ▼洋画 特選 中屋一、清水淳平、高野朗、植田耕作、吉田幸男 ▼山脇賞 日和崎尊夫 ▼喪状 横矢寛、竹村晴夫、古味秀友、森田昭一、吉田茂嘉、高崎元尚、山崎龍助、小松又十郎、浜川勝春、矢野川滝男、長谷部正 ▼日本画 特選 並村菊子、公文康博、山本卓子 ▼喪状 松本徳圓、公文康恵、内田恵子、碓井義雄、長野勲 ▼彫塑 特選 多田誠七、竹本次男 ▼喪状 高西勝宏、岡林良、西川典重 ▼工芸 特選 高橋亨、玉木善光、柳原陸夫 ▼喪状 森本忠彦、小倉寿喜、箕浦将允、岡村聰、須賀愛 ▼書道 特選 矢野道子、安藤雀栖、黒原雲峰 ▼喪状 中島天嶺、栗田子鶴、浜田清華、吉原抱翠、濱田尚川、谷脇梅翠、中田九外 ▼写真 特選 西川房吉、川西安一郎、石田健一、西村長久、森田典男、山中孝彦 ▼喪状 杉本正、川崎芳五郎、田辺寿男、西尾精祐、南茂、田井宏二郎、山本武男、竹内清次郎、別役和久、前田貞一、弥勒展文、竹葉英一、大関茂雄、岡本喜博

第19回(40年)

【概要】審査員に山口華楊(日本画)と4度目の浜谷浩(写真)を招く。入場者3万人と盛況。審査員のことば▽洋画「特選4作がずば抜けており、感覚的に優れたものが見られる」▽日本画「全体にけれん味がなく素直だが、それが欠点にもなる」▽彫塑「作家意識がこもり、大作も増えて充実」▽工芸「商業美術が多い。新しいアイデア、感覚のひらめきのあるものを採る」▽書道「大作が増え、練度も高くなる。半面、野性味、個性に欠ける」▽写真「ベテランに戸惑い。下の層は上がる。基礎訓練も大切」。無鑑査に寺尾孝志、青木健真、畑山裕紀、佐竹一七、大野敦英。

【会期】10月30日～11月14日

【会場】県民ホール

【審査員】▽洋画 筒井広道、福富栄、山本茂一郎、濱口富治▽日本画 山口華楊▽彫塑 渡辺一八大、横田照生▽工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、大野龍夫▽書道 竹村朱雀、光本三千萬、磯部天池、松岡雲峰▽写真 浜谷浩

【受賞者】▽洋画 特選 楠本正直、谷岡久、寺尾孝志、池正孝▽山脇賞 該当なし▽褒状 猪原大慈、横山佐和子、森田昭一、古味秀友、山崎龍助、竹村晴夫、宮崎正臣、浜川勝春、日和崎尊夫、笹岡義彦、崎元尚、伊勢田義男、武内光仁、大野一郎、村井義勝、明神宏和▽日本画 特選 上田明男、碓井義雄、長野勲▽褒状 中居進、松本徳圓、小野保、横矢幹雄、伊尾木正太郎▽彫塑 特選 鈴木直人、青木健真▽褒状 山田潤耕、永吉海心、吉岡郷継、堀内昭佑▽工芸 特選 吉田幸男、北村文和▽褒状 松代正一、岩田淳次郎、杉本節子、岩崎友太郎、小倉寿喜▽書道 特選 岩城研水、中田九外▽褒状 浜田清華、西村翠雲、町田碧峰、東条春翠、北村華堂、田村高堂、松岡大峰、川内悠溪、田村曉鶴、川崎翠村▽写真 特選 佐竹一七、北村幸男、畑山裕紀、大野敦英、竹内清次郎、島内古庵▽褒状 杉本央、岡雄一、前田貞一、朝倉智、弘田博敏、中越倉雄、別役和久、清岡義道、久松久米男、八井田敏、田辺寿男、島村寿郎、中山増三、杉本正

第20回(41年)

【概要】20回記念展として「県展大賞」が特設される。各部門1点ずつ、無鑑査、推薦も含めた最優秀作に贈られる賞。洋画には立体作品やポップアートが登場し、彫塑には全身像が増える。書道は表現が多彩になり、日本画は審査員2度目の池田遙郎が「進境著しい」と評した。無鑑査に多田誠七、福原云外、黒原雲峰、高野朗、杉本正。洋画の山本茂一郎死去。

【会期】10月15日～11月3日

【会場】県民ホール

【審査員】▽洋画 植村鷹千代、筒井広道、福富栄、濱口富治▽日本画 池田遙郎▽彫塑 渡辺一八大、横田照生▽工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、大野龍夫▽書道 光本三千萬、磯部天池、松岡雲峰、高松薫真▽写真 石元泰博

【受賞者】▽県展大賞(洋画) 堀慎吉(日本画) 岡林流仙(彫塑) 小松常男(工芸) 野本精治(書道) 福原云外(写真) 西岡富久美▽洋画 特選 中屋一、笹岡義彦、高野朗、堀慎吉、日和崎尊夫▽山脇賞 土井克彦▽褒状 森田昭一、横矢幹、古味秀友、三木一成、宮本初義、多田和彦、浜川勝春、高崎元尚、矢野川滝男、桑尾寿秋、仲隆三、山崎京子、山崎龍助、貞廣英明、坂田和、大西清澄、高山譲二、大野一郎、永吉鉄夫、吉井英二、武内光仁▽日本画 特選 井上高志、岡林流仙▽褒状 中居進、並村菊子、津田稲城、公文康博、松田昇▽彫塑 特選 多田誠七▽褒状 永吉海心、堀内昭佑、井上恵、岩貞徳一▽工芸 特選 玉木善光、松代正一▽褒状 森本忠彦、須賀愛、依光修平、近藤正司、杉本節子▽書道 特選 福原云外、松岡大峰、黒原雲峰▽褒状 東条春翠、小西久子、浜田清華、北村華堂、伊藤丘城、吉原榮石、川内悠溪、関田菊子、森瑞泉、谷脇龍翠▽写真 特選 前田貞一、杉本正、川田長孝、西岡富久美、窪田洋一、吉川宏男▽褒状 栗山福美、井上清夫、弘田博敏、榎谷雅道、清岡義道、岡林直弥、岸野暢三、中井秀夫、杉本央、土居民興、真辺敬吉、村戸庄造、山本俊一郎、畠中敏

第21回(42年)

【概要】搬入2千304点。日本画に初の女性審査員山本梅尾が登場。各部門とも作品レベルは上がり、「地方公募展としては高い水準」と評された。半面、洋画には絵画思考に欠ける立体作品が目立ったり、写真には問題意識が欠落し、老化現象をおもる作品がある」と指摘される場面もあった。色紙即売会、無鑑査作品を一堂に集めた「無鑑査コーナー」もにぎわう。無鑑査に楠本正直、谷岡久、北村文和。

【会期】10月21日～11月5日

【会場】県民ホール

【審査員】▽洋画 福富栄、濱口富治、島野大作、黒原和男▽日本画 下司凍月、田岡耕作、中島敬朝、山本梅尾▽彫塑 渡辺一八大、横田照生、小松常男▽工芸 森光喜、秦泉寺正一、山六郎、大野龍夫、渡辺善介▽書道 手島右卿▽写真 渡辺勉

【受賞者】▽洋画 特選 竹村晴夫、浜川勝春、谷岡久、楠本正直、高崎元尚▽山脇賞 田島征彦▽褒状 沖正浩、中村啓次郎、桑尾寿秋、中城克巳、高山譲二、仲隆三、奈良英俊、池正孝、土居克彦、田村寿伸、貞廣英明、大平武夫、山崎龍助、坂本祥一、吉井英二、古味秀友、猪原大慈▽日本画 特選 中居進、並村菊子▽褒状 松本徳圓、内田恵子、長野勲、栗山威子、谷村泰子▽彫塑 特選 鈴木直人▽褒状 岩貞徳一、吉岡郷継、西川興亜、岡林良、大平武夫、井上恵、永吉海心▽工芸 特選 北村文和、小倉寿喜、森本忠彦▽褒状 西岡鶴夫、本田恭子、山崎彰吾、高橋美恵、近藤正司、依光修平、岩崎友太郎▽書道 特選 瀨田尚川、伊藤丘城、森下草州、中平松鶴、田中白歩▽褒状 吉原榮石、高田美代子、森瑞泉、弘末咲翠、万条敏、岩城研水、関田菊子、川内悠溪、安部大元、川添龍翠▽写真 特選 森岡盛一郎、江口十一郎、松村一位、徳久静男、谷村稔、山内英雄▽褒状 小野繁一、川村晋一郎、岡田光男、榎谷雅道、国光敬一、浜窪昌彦、山本啓正、松村猛彦、今上馬則、田村泰郎

第22回(43年)

【概要】車で搬入する光景が見られるようになる。作品はさらに大型化、洋画の30、50号はもはや当たり前の大きさ。新人の台頭も目立ち、入賞作にも新しい作家が登場、フレッシュな印象を与えた。現代人の潜在意識を表現した二つの立体作品が洋画の特選に選ばれる。工芸には商業美術が多くなり、立体とともに独立部門設立の声が高まる。無鑑査に岡林流仙、上田明男、中屋一、松岡大峰。

【会期】10月19日～11月3日

【会場】県民ホール

【審査員】洋画 齋藤義重 日本画 下司凍月、中島敬朝、田岡耕作 彫塑 渡辺一八大、横田照生、小松常男 工芸 森光喜、秦泉寺正一、大野龍夫、渡辺善介、浜田晃徳 書道 桑原翠邦 写真 岩宮武二

【受賞者】洋画 特選 中屋一、古味秀友、大西清澄、西川興亜 山脇賞 村田正博 褒状 正木伸夫、半田喜久男、田島栄、佐々木珠后、中村啓次郎、玉造義隆、岩崎茂久、池正孝、堀慎吉、宮地和夫、岩合泰治、門田修充、猪原大慈、上田明男、橋田憲明、坂田和 日本画 特選 岡林流仙、上田明男 褒状 岩井三雄、古谷慎一郎、杉本妙、長野勲、井上高志 彫塑 特選 永吉海心、橋本和康、岡林良 褒状 小島秀也、西森宣博、井上恵、田辺豊樹 工芸 特選 井戸碩夫、山村善貞、松代正一 褒状 玉木善光、山本俊一郎、金山和裕、近藤勉、永田恵子

書道 特選 田中松雲、松岡大峰、川内悠溪 褒状 江川鶴舟、三谷信子、弘末咲翠、尾崎呂谷、大野祥雲、川添龍翠、吉原果石、小西桃春、田村曉鶴、田所風翠 写真 特選 近藤輝代彦、笹内正実、孕石錡太郎、宮地一栄、岡部正明、岡崎道雄 褒状 小野繁一、栗山福美、岡村治、川崎善一、徳永均、恒石晃志、鳥総一郎、福永修、鈴木啓之、森本林、石元栄一、山脇博之、田辺寿男、吉川宏男

第23回(44年)

【概要】商業美術と立体作品2部門が独立、洋画・日本画・彫塑・工芸・書道・写真と合わせ8部門となる。初代審査員には、商業美術が大野龍夫、山六郎、黒田矩彰、中幸夫。立体作品が高崎元尚、寺尾孝志、ほかに新しく片木太郎(洋画)、小松豊栄(日本画)、柳原睦夫(工芸)が加わり、中央から植田正治(写真)を招く。無鑑査に岩貞徳一。

【会期】10月18日～11月3日

【会場】県民ホール

【審査員】洋画 筒井広道、福富栄、濱口富治、島野大作、黒原和男、片木太郎 日本画 田岡耕作、中島敬朝、山本梅尾、小松豊栄 彫塑 渡辺一八大、横田照生、小松常男 工芸 森光喜、渡辺善介、秦泉寺正一、浜田晃徳、柳原睦夫 書道 竹村子雀、光本三千萬、磯部天池 写真 植田正治 商業美術 大野龍夫、山六郎、黒田矩彰、中幸夫 立体作品 高崎元尚、寺尾孝志

【受賞者】洋画 特選 大平武夫、吉井英二、武内光仁、桑尾寿秋 山脇賞 小原知成 褒状 沖正浩、大野一郎、森本忠彦、中沢利昭、片岡福光、水田隆秋、島村義一、中村啓次郎、浜川勝春、貞廣英明、池正孝、岩合泰治、山中貞巳、中城克巳、坂田和 日本画 特選 前田朝子 褒状 橋詰喜美子、並村菊子、津田稲城、谷村泰子、岩村勝美、塩田広 彫塑 特選 岩貞徳一、田辺豊樹 褒状 大野良一、谷岡百合、広田勝宏、山田健次郎、船木直人 工芸 特選 箕浦将允、豊島和枝 褒状 橋村紀子、小串須美子、五十嵐恭子、百々良子、景山静恵 書道 特選 安部大元、中川子暢、浜田清華 褒状 北代碧山、小西桃春、竹森桂翠、谷脇梅翠、田原雄泉、東条春翠、中島大嶺、中平松鶴、弘末咲翠、町田碧峰、森瑞泉、吉原果石 写真 特選 永野一夫、松村一位、川崎芳五郎、島内弘英、山内英雄、谷村稔、栗山福美、川田博一、浜田友太郎、小野繁一、森本林、中越倉雄、比予森育造、国実博、植田豊一、森本林、中越倉雄、竹内律二、吉田先、田所のおこ、川西安一郎、仲井実、樋口和海、嶋田照雄、森田和夫、一ツ松金義 商業美術 特選 仲隆三、島村哲夫 褒状 松井大洲、松井洋史、岩崎友太郎、玉木善光、藤本知子、上田典子 立体作品 特選 都築房子 褒状 大西じゅり、門田修充、横田芳一

洋画 特選 矢野健一、島村義一、岩崎茂久、古味秀友 山脇賞 藤永憲夫 褒状 岩合泰治、大島英男、諸泉忍、二標美千子、前田敏、山本剛士、齊藤勲、長崎秀雄、芝田富子、前田友幸、池正孝、大西清澄、森本忠彦 日本画 特選 並村菊子、塩田広 褒状 中居進、松田花陵、内田恵子、杉本妙 彫塑 特選 山田健次郎、大野良一 褒状 小松澄子、末田光一、船木直人、広田勝宏 工芸 特選 山村善貞、井戸碩夫 褒状 青野久雄、細川末、高橋六郎、飯村富美子、森川愛子 書道 特選 吉原果石、中平松鶴 褒状 井上絹恵、須賀直山、谷淵龍翠、中田九外、正岡翠峰、川添龍翠、伊藤蘭堂、和田大康、田中白歩、森下草州、岩城研水、濱田尚川、川内悠溪 写真 特選 池内深、恒石晃志、笹内正実、中越倉雄、川西安一郎、小野繁一 褒状 田中甲、野口一夫、近藤輝代彦、森岡盛一郎、浜口俊一、川村衆蔵、国実博、古谷多賀雄、小林政章、薬師神きよし、保木林、升田道雄、山崎彰、元吉富子、田井宏二郎、国光敏一、岸野文雄、土居民興、青野久雄、岡田光男 商業美術 特選 石川恵子、森国直美、柳生小夜子 褒状 西岡鶴夫、金山雅子、大妻真知子、藤本忠士、藤本知子、上田典子、北川健二 立体作品 特選 大西清澄 褒状 門田修充

第24回(45年)

【概要】審査員に中央から鶴岡政男(洋画)、小久保善吉(写真)、県内で新しく福原吉外(書道)、高野朗(立体作品)も。展示会場は長年親しまれた県民ホールから新築の県立郷土文化会館へ移る。県民ホールよりやや狭いが落ち着いた雰囲気。展示は屋外とロビーに立体、1階に工芸・商業美術・写真、2階に洋画・日本画・彫塑・書道。入賞入選は64点。入場者数は4万人余。無鑑査に並村菊子。日本画の武市瑞邦死去。

【会期】10月17日～11月3日

【会場】県立郷土文化会館

【審査員】洋画 鶴岡政男 日本画 田岡耕作、中島敬朝、山本梅尾、小松豊栄 彫塑 渡辺一八大、横田照生、小松常男 工芸 森光喜、渡辺善介、秦泉寺正一、浜田晃徳、柳原睦夫 書道 松岡雲峰、福原云外 写真 小久保善吉 商業美術 大野龍夫、山六郎、黒田矩彰、中幸夫 立体作品 高崎元尚、寺尾孝志、高野朗

【受賞者】洋画 特選 矢野健一、島村義一、岩崎茂久、古味秀友 山脇賞 藤永憲夫 褒状 岩合泰治、大島英男、諸泉忍、二標美千子、前田敏、山本剛士、齊藤勲、長崎秀雄、芝田富子、前田友幸、池正孝、大西清澄、森本忠彦 日本画 特選 並村菊子、塩田広 褒状 中居進、松田花陵、内田恵子、杉本妙 彫塑 特選 山田健次郎、大野良一 褒状 小松澄子、末田光一、船木直人、広田勝宏 工芸 特選 山村善貞、井戸碩夫 褒状 青野久雄、細川末、高橋六郎、飯村富美子、森川愛子 書道 特選 吉原果石、中平松鶴 褒状 井上絹恵、須賀直山、谷淵龍翠、中田九外、正岡翠峰、川添龍翠、伊藤蘭堂、和田大康、田中白歩、森下草州、岩城研水、濱田尚川、川内悠溪 写真 特選 池内深、恒石晃志、笹内正実、中越倉雄、川西安一郎、小野繁一 褒状 田中甲、野口一夫、近藤輝代彦、森岡盛一郎、浜口俊一、川村衆蔵、国実博、古谷多賀雄、小林政章、薬師神きよし、保木林、升田道雄、山崎彰、元吉富子、田井宏二郎、国光敏一、岸野文雄、土居民興、青野久雄、岡田光男 商業美術 特選 石川恵子、森国直美、柳生小夜子 褒状 西岡鶴夫、金山雅子、大妻真知子、藤本忠士、藤本知子、上田典子、北川健二 立体作品 特選 大西清澄 褒状 門田修充

第25回(46年)

【概要】 県展が発足し4分の1世紀という歴史の「節」を刻んだ。この年の搬入作品2千579点、入場者数4万人余。審査員は中央から森田曠平(日本画)、小牧源太郎(洋画)、小川竹城(書道)、林忠彦(写真)。搬入数の増加から厳選が目立ち、審査が難航する場面もしばしば。引き続き若い世代と女性が進出した。洋画に新しい方向を模索するもの、書に時代を先取りしようとする積極性がみられ、日本画には洋画風の手法が定着する。無鑑査に吉井英二、桑尾寿夫、井上高志、松村一位。

【会期】 10月24日～11月7日
【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 小牧源太郎 日本画 森田曠平 彫塑 渡辺一八大 横田照生 小松常男 工芸 森光喜 渡辺善介 秦泉寺正一 浜田晃徳 柳原陸夫 書道 小川竹城 写真 林忠彦 商業美術 大野龍夫 山六郎 黒田矩彰 中幸夫 立体作品 高崎元尚 寺尾孝志 高野朗
【受賞者】 洋画 特選 吉井英二、中城克巳、桑尾寿夫、片岡福光 山脇賞 塩崎洋治 褒状 窪添雅子、吉本一男、久保田佐津子、早崎龍夫、藤島巖、武内光仁、西内三喜子、三木一成、高橋富士松、末田光一、猪原大慈、前田巖、多田和彦 日本画 特選 前田朝子、井上高志 褒状 米沢みき子、中居進、武政佐代子、松田花陵 彫塑 特選 田辺豊樹、橋本和康 褒状 松木直人、飯田和孝、井上恵、安藤義孝、松本琢夫、永吉海心 工芸 特選 三谷農水、吉岡弘 褒状 浜田千鶴子、鍋田和宣、竹本次郎、山村貞行、森川愛子 書道 特選 浜田清華、中川子暢 褒状 安部大元、和泉蒼牛、西内琴舟、森本栖冬、池田臨泉、岩貞大容、中田九外、谷淵龍翠、関田一黄、宮田南溟、伊藤丘城、森瑞泉、井上絹恵、谷脇梅翠 写真 特選 細井裕之、松村一位、栗山福美、白川喜一、松岡兼幸、入野俊三 褒状 岡武彦、比予森育造、山本広喜、武市良典、和田義景、安谷武彰、古谷多賀雄、窪内賀一、岩崎勇、山本準一、永野一夫、池添政秋、永野寿春、坂本超英、有光次男、川崎芳五郎、岡本守正、田辺寿男、浜田弘英 商業美術 特選 仲隆三、小島伊津子 褒状 藤本忠士、岩崎友太郎、松井大洲、矢野美奈子、大石忠生 立体作品 特選 都築房子 褒状 西川興亜、尾崎藤吉郎

第26回(47年)

【概要】 この年春、県展25周年を記念して無鑑査以上の作家による県展代表作展が開かれ、話題を呼ぶ。作品の大型化はさらにエスカレート、加えて搬入増(2千589点)から、会場の狭あいが切実なものとなってきた。審査員は中央から中村宏(洋画)、加山又造(日本画)、小坂奇石(書道)、大東元(写真)の4人。もつと土地の特色を、というのが共通した意見。無鑑査に中平松鶴、大西清澄、井戸碩夫、山村善貞。

【会期】 10月21日～11月5日
【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 中村宏 日本画 加山又造 彫塑 渡辺一八大 横田照生 小松常男 工芸 森光喜 渡辺善介 秦泉寺正一 浜田晃徳 書道 小坂奇石 写真 大東元 商業美術 大野龍夫 山六郎 黒田矩彰 中幸夫 立体作品 高崎元尚 寺尾孝志 高野朗
【受賞者】 洋画 特選 岩崎茂久、坂田和、沖正浩、武内光仁 山脇賞 西原真 褒状 島村義一、橋詰正利、三木一成、乾候徳、川淵富子、上田明男、南武志、江川登志夫、矢野城桜、宮本初義、岡島良典、中村啓次郎、貞廣英明 日本画 特選 小野保、橋詰喜美子 褒状 大野長一、並村由美子、塩田広、杉本限生 彫塑 特選 広田勝宏、大野良一、松本琢夫 褒状 浜田五月子、堀内昭佑 工芸 特選 井戸碩夫、山村善貞 褒状 石本明、浜田千鶴子、五十嵐恭子、村田寅次郎、金山和裕 書道 特選 新階肖亭、宮田南溟、中平松鶴 褒状 安岡瑞子、川崎尚雲、久保尚文、野中紅風、松吉豊心、川上幸子、正岡翠峰、澤谷萬嶽、唐岩碧水、濱田尚川、沢田章、岩原教子、今井三声 写真 特選 竹村和芳、沢近章、櫻谷雅道、国光敬一、山崎房好、谷次郎 褒状 筒井真道、水田貴士、浜田弘英、清岡義道、西本員一、吉田先、森岡盛一郎、谷村稔、吉名春喜、小野繁一、弘田博敏、山本広喜、永野泰弘、比予森育造、上村登、大坪立男、山本武男、西本和男、西川房吉 商業美術 特選 三谷ゆり、和田重昭 褒状 徳弘美和子、岩崎友太郎、宮崎寿子、藤本忠士、おとまるみち 立体作品 特選 大西清澄 褒状 門田修充、乾候滋

第27回(48年)

【概要】 搬入2千722点、入選640点。洋画は80、100号の大作が目立つ。山脇賞に15歳の田上泰昭が選ばれた。県外審査員の評「洋画「まず根つこを養え。対象と正対して物の実をとらえよ」▽日本画「絵に対する執念が足りぬ。土地の特色を出せ」▽彫塑「細部を見る目を養え」▽写真「新しい発想、大胆な試みを」。無鑑査に大平武夫、中城克巳、濱田清華、中川子暢、栗山福美、西本倍崇、仲隆三。かな書の谷脇溪翠死去。

【会期】 10月6日～21日
【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 山口長男 日本画 加藤東一 彫塑 山本豊市 工芸 森光喜 秦泉寺正一 浜田晃徳 井戸碩夫 山村善貞 柳原陸夫 書道 光本三千萬 磯部天池 高松慕真 写真 渡辺勉 商業美術 大野龍夫 山六郎 黒田矩彰 中幸夫 立体作品 高崎元尚 寺尾孝志 高野朗
【受賞者】 洋画 特選 中城克巳、大平武夫、浜川勝春、岩合大助 山脇賞 田上泰昭 褒状 猪原大慈 森下寛幸、村井義勝、片岡福光、沢田千世夫、岡林修平、中村啓次郎、光森孝男、森岡周郎、坂本祥一、由城順造、美馬須美子、福島晴子 日本画 特選 西本倍崇、増田昭夫 褒状 塩田広、中居進、大野長一、武政照子 彫塑 特選 浜田五月子、福島勇 褒状 田辺豊樹、中山蓉子、松田牧子、西込節子 工芸 特選 村田寅次郎、吉岡弘 褒状 依光隆子、浜田千鶴子、前川通泰、近藤勉、山村貞行、上岡真美子 書道 特選 伊藤丘城、中川子暢、濱田清華 褒状 川内悠溪、吉原さち、井上絹恵、和泉蒼牛、橋本栖冬、谷脇梅翠、山手さち、関田菊子、小西桃春、森本栖冬、安部翠心、岩貞大容、森瑞泉 写真 特選 栗山福美、依岡敏彦、田辺寿男、山本準一、小松勇、西岡富久美 褒状 永野一夫、浜田弘英、大関茂雄、清岡義道、弘田博敏、島内吉康、吉岡昌雄、山本隆、島総一郎、永沢悦徳、三好賢司、山本広喜、水田貴士、小松征次、松崎広海、塩崎洋治、野口一夫、岡本守正、松下政司 商業美術 特選 仲隆三、守谷孝男 褒状 石川英子、川島美由、嶋崎節子、藤九静代、斎藤鈴子、崎山裕子、藤本忠士、森本忠彦 立体作品 特選 長野裕子 褒状 門田修充、志賀健蔵

第28回(49年)

【概要】規定が変わって特選数が各部門とも半分に減り「特選作家」への道はますます厳しくなる。搬入は洋画、工芸が増えて2千823点、入選は625点。審査員は中央から加山又造(日本画)、糸園和三郎(洋画)、渡辺勉(写真)。彫塑は県内から船木直人、中屋辰男。グループの活躍が目立ち、特に日本画の上幅グループ(幡多)の進出が目覚ましかった。写真に組み写真が解禁。この年から理事長ポストが設けられ中村博(洋画)が就任。無鑑査に大野良一、岩合泰治、島内吉康。彫塑の渡辺一八大、小松常男死去。

【会期】10月18日～11月4日

【会場】県立郷土文化会館

【審査員】洋画 糸園和三郎 日本画 加山又造 彫塑 横田照生、中屋辰男、船木直人 工芸 秦泉寺正一、森光喜、井戸碩夫、山村善貞、柳原陸夫 書道 竹村子雀、松岡雲峰、福原云外 写真 渡辺勉 商業美術 大野龍夫、黒田矩彰、中幸夫 立体作品 高崎元尚、高野朗

【受賞者】洋画 特選 若合泰治、貞廣英明 山脇賞 田村忠信 褒状 細川義彰、坂本祥一、森岡周郎、久保田景泉、竹村晴夫、笹岡義彦、古味秀友、美馬須美子、水田隆積、武内光仁、大崎大太郎、今城康之、西内三喜子、光森孝男 日本画 特選 大崎延 褒状 那須喜雄、小野保、橋詰喜美子、北村はる 彫塑 特選 大野良一 褒状 若狭律明、松本琢夫、島村高幸、山田健次郎 工芸 特選 根口栄 褒状 近藤勉、田辺豊樹、福留宏、五十嵐恭子、金子和子、斎賀万知子 書道 特選 沢田章、弘末咲翠 褒状 和田大康、中島天嶺、河添彬、安部翠心、小松翠堂、町田碧峰、川崎翠村、濱田尚川、川内悠溪、万条巖、岩城研水 写真 特選 竹村和芳、島内吉康、戸田猛夫 褒状 山下一、杉本誠、恒石晃志、野口務、永野一夫、清岡義道、入野俊三、永野泰弘、山本勲、浜田弘英、真鍋隆夫、国沢隆義、清遠成男、武吉孝夫、武吉東、西村良秋、森岡義晴、白川喜一、浜田圭志、橋本享邦 商業美術 特選 井上富美子 褒状 森本忠彦、大石忠生、末岡勝弘、三谷ゆり、藤本忠士 立体作品 特選 該当なし 褒状 守谷孝男、山崎雅宏、都築房子

第29回(50年)

【概要】再び会場が2カ所に。搬入2千700点。審査員は中央から野見山曉治(洋画)、三輪晃勢(日本画)、細江英公(写真)。県内から竹本次男(彫塑)、中田雀邑(書道)、仲隆三(商業美術)、志賀健蔵(立体作品)が新しく加わる。日本画では引き続き上幅グループが活躍。また三輪晃勢が公然と無鑑査作家の無気力ぶりを指摘。無鑑査に田中白歩。書道の磯部天池、竹村子雀死去。

【会期】10月17日～11月3日

【会場】県立郷土文化会館、高知大丸(写真)

【審査員】洋画 野見山曉治 日本画 三輪晃勢 彫塑 横田照生、船木直人、中屋辰男、竹本次男 工芸 森光喜、秦泉寺正一、山村善貞、井戸碩夫 書道 光本三千萬、高松泰真、中田雀邑 写真 細江英公 商業美術 黒田矩彰、中幸夫、仲隆三 立体作品 高崎元尚、高野朗、志賀健蔵

【受賞者】洋画 特選 森本忠彦、若狭律明 山脇賞 山本さよ子 褒状 高橋富士松、岩合大助、久保田景泉、猪原大慈、中沢要輔、中村啓次郎、古味秀友、大崎大太郎、井本不二男、公文佐千夫、塚福男、多田運、田村忠信、吉本一男、西内三喜子 日本画 特選 浜口美智代 褒状 岡村秀子、橋詰喜美子、下村耀子 彫塑 特選 池上由利子 褒状 永吉海心、堀田捷子、井上憲一、小野貞秋 工芸 特選 田辺豊樹 褒状 近藤勉、細井裕之、佐竹寅義、吉岡弘 書道 特選 川崎翠村、田中白歩 褒状 伊藤丘城、長門喜美、谷脇梅翠、岩城研水、吉本翠香、中島天嶺、野中紅風、吉原果石、中田九外、田村竜水 写真 特選 岡本守正、清遠成男、白川喜一 褒状 竹内律二、吉田公一、入交貞悦、又川尚広、中越倉雄、森岡盛一郎、吉川清志、川崎芳五郎、西内久明、大南春美、岩崎勇、矢野一、海地節雄、足達啓郎、西岡富久美、田辺哲郎、前田栄進、武吉孝夫、山本広喜、生玉道雄 商業美術 特選 松井大洲 褒状 末岡勝弘、宮田孝志、三谷ゆり、森本忠彦、森なつ子 立体作品 特選 西川真亜 褒状 都築房子、山崎雅宏

第30回(51年)

【概要】8部門合わせ3千7点の搬入。30回展を記念して「県展大賞」が特設され8部門に1点ずつ、審査員と招待の作品を除き、無鑑査・入賞・入選の全作品の中から選ばれる県展作家最高の栄誉。また、中村市へ移動展を行う。中央からの審査員は、須田烈太(洋画)、福王寺法林(日本画)、柳原義達(彫塑)、藤本能道、吉田左源二(工芸)、山崎大抱(書道)、林忠彦(写真)。無鑑査に前田朝子、貞廣英明。商業美術の中幸夫死去。

【会期】10月15日～11月3日

【会場】県立郷土文化会館、県教育会館(写真)

【審査員】洋画 須田烈太 日本画 福王寺法林 彫塑 柳原義達 工芸 藤本能道、吉田左源二、山村善貞 書道 山崎大抱 写真 林忠彦 商業美術 大野龍夫、黒田矩彰、仲隆三 立体作品 高崎元尚、高野朗、志賀健蔵

【受賞者】県展大賞 (洋画)鎌倉通孝(日本画) 前田朝子(彫塑) 大野良一(工芸) 野本精治(書道) 田中白歩(写真) 白川喜一(商業美術) 森本忠彦(立体作品) 山崎雅宏(洋画) 特選 貞廣英明、鎌倉通孝 山脇賞 岡崎昭夫 褒状 高垣恵一、猪原大慈、橋詰正利、三木京子、松本正一、片岡福光、細川義彰、美馬須美子、川村きく子、島村義一、末田光一、近藤敏弘、宮崎剛彦、堺福男、安田順、竹中美枝 日本画 特選 前田朝子 褒状 小川公美、松田昇、岡林秀子 彫塑 特選 松本琢夫 褒状 岩佐洋子、中屋廣隆、千代岡文恵 工芸 特選 五十嵐恭子 褒状 西原滋、片岡元則、山村貞行、横田綾子 書道 特選 吉原果石、橋本栖谷 褒状 澤谷萬嶽、川内悠溪、長門喜美、西本佳包、弘末咲翠、町田碧峰、新谷嶺雲、北代碧山、宮田南溟、濱田尚川、伊藤丘城、正岡翠峰 写真 特選 川田時則、櫻谷雅道、西内久明 褒状 恒石晃志、明石正、入交貞悦、真部和夫、仲井美、田原武男、吉田公一、中越倉雄、岩崎勇、近藤輝代彦、浜田弘英、川崎芳五郎、吉田昌雄、永野泰弘、徳弘準一、竹村豊、武井裕彦、田辺哲郎、長尾陸平 商業美術 特選 森本忠彦 褒状 大石忠生、三谷ゆり、神崎温順、守谷孝男 立体作品 特選 山崎雅宏 褒状 都築房子、門脇治

第31回(52年)

【概要】 搬入は8部門3千59点の応募があり、前回を上回る盛況。審査員に中央から小野末(洋画)、広田多津(日本画)、木村知石(書道)、渡辺勉(写真)を招く。県内から新しく大野良一(彫塑)、北村文和(工芸)。無鑑査に西川興亜。書道の高松慕真、工芸の田所芳秋死去。

【会期】 10月14日～11月3日

【会場】 県立郷土文化会館、県教育会館(写真)

【審査員】 ▼洋画 小野末 ▼日本画 広田多津 ▼彫塑 松木直人、中屋辰男、大野良一 ▼工芸 山村善貞、井戸碩夫、野本精治、北村文和 ▼書道 木村知石 ▼写真 渡辺勉 ▼商業美術 大野龍夫、黒田矩彰、仲隆三 ▼立体作品 高崎元尚、高野朗、志賀健蔵

【受賞者】 ▼洋画 特選 三木一成、宮崎剛彦、近石春江 ▼山脇賞 上迫博幸 ▼褒状 山本幸一、矢野春雄、国則博道、近森百合子、入交啓、美馬須美子、唐岩秀、有沢正幸、泰田勳、谷相興二、久武ゆか、稲垣忠信、古谷敏彦、岡崎昭夫、西込曠、山中順翠 ▼日本画 特選 伊与田悦子 ▼褒状 八木明、土居和子、谷村泰子 ▼彫塑 特選 田辺陽子 ▼褒状 小松玖美子、片岡篤信、小野貞秋 ▼工芸 特選 依光隆子、田辺豊樹 ▼褒状 刈谷直治、上岡儀信、福留宏、藤田茂、浜田千鶴子、田村信雄 ▼書道 特選 西村紅葉、濱田尚川 ▼褒状 弘末咲翠、飯塚耀舟、関田冬果、和泉蒼牛、小松翠香、新階尚亭、西村悠停、伊藤丘城、川内悠溪、新階由美、志水黄悦、味元紫雲 ▼写真 特選 山本啓正、入野俊三、谷田昌水 ▼褒状 清岡義道、竹村和芳、大南春美、前田秀一、入交貞悦、仲井実、樋口和海、山下一、堅田清志、松崎広海、浜口俊一、竹崎雅夫、川西安一郎、田村豊成、中田博三、武吉束、広田甲、森沢芳広、和田節男、岩崎勇 ▼商業美術 特選 松井大洲 ▼褒状 守谷孝男、大石忠生、藤本知子、神崎温順 ▼立体作品 特選 西川興亜 ▼褒状 入交京子、都築房子

第32回(53年)

【概要】 搬入は3千201点。審査員は中央から原精一(洋画)、加藤晨明(日本画)、岩宮武二(写真)、池田正三(商業美術)を迎え、県内から田中白歩(書道)が新しく加わる。写真では土佐清水市の「ひねピンクラブ」が三つの特選を独占。ほかに窪川町絵画クラブ、高知学芸高校美術部の活躍が光った。無鑑査に吉原菓石、笹内政実、都築房子。

【会期】 10月14日～11月3日

【会場】 県立郷土文化会館、県教育会館(写真)

【審査員】 ▼洋画 原精一 ▼日本画 加藤晨明 ▼彫塑 松木直人、大野良一、中屋辰男 ▼工芸 北村文和、野本精治、井戸碩夫、山村善貞 ▼書道 田中白歩、松岡雲峰、中田雀邑 ▼写真 岩宮武二 ▼商業美術 池田正三 ▼立体作品 高崎元尚、高野朗、志賀健蔵

【受賞者】 ▼洋画 特選 西森晃、島村義一、藤島巖 ▼山脇賞 鈴木理恵 ▼褒状 栗山福美、森公世、土居玖美子、木村江里、戸次直美、町田千代、永吉海心、山中貞巳、黒須清子、有沢正幸、佐々木信男、長谷川義夫、竹村晴夫、宮崎嘉夫 ▼日本画 特選 宮尾千鶴子 ▼褒状 松田昇、橋本初恵、池田廣子 ▼彫塑 特選 小野貞秋 ▼褒状 石丸秀子、千代岡文恵、橋本和康 ▼工芸 特選 五十嵐恭子、川本健次郎 ▼褒状 沖愛子、箕浦将允、池田八郎、潮田文明、田村信雄、近藤勉、吉岡弘、福留宏、鞆郁摩、西森直史 ▼書道 特選 吉原菓石、大野祥雲 ▼褒状 内川道子、北代碧山、井河城山、伊藤丘城、川崎翠村、関田菊子、弘末咲翠、岩尾高、森瑞泉、小松翠香、川内悠溪 ▼写真 特選 山岡征治、笹内政実、谷川経訓 ▼褒状 明石正、足達啓郎、山崎彰、白川喜一、岡本守正、樋口和海、三田秀幸、森沢芳廣、真部和夫、岡吉佐和子、依岡敏彦、杉本誠、公文正昭、中田博三、浜口俊一、渋谷雄、森田紘一、沢谷福造、山本清志、弘瀬明男 ▼商業美術 特選 山中律 ▼褒状 森本忠彦、藤本知子、徳広秀幸、狩野信児 ▼立体作品 特選 都築房子 ▼褒状 狩野信児、入交京子

第33回(54年)

【概要】 搬入は3千211点。入場者3万8千人。審査員は中央から吉井淳二(洋画)、福王寺法林(日本画)、佐藤明(写真)。県内から大西清澄(立体作品)、沢田明子(書道)。書道では初めての女性審査員の誕生。県展作家代表30人が中内県知事に美術館建設を陳情。無鑑査に吉岡弧石、森本忠彦、橋本和康。彫塑の濱口青果、立体作品の高野朗死去。

【会期】 10月13日～11月4日

【会場】 県立郷土文化会館、県教育会館(写真)

【審査員】 ▼洋画 吉井淳二 ▼日本画 福王寺法林 ▼彫塑 中屋辰男、松木直人、大野良一 ▼工芸 柳原陸夫、山村善貞、井戸碩夫、野本精治、北村文和 ▼書道 光本三千萬、沢田明子、中平松鶴 ▼写真 佐藤明 ▼商業美術 大野龍夫、黒田矩彰、仲隆三 ▼立体作品 高崎元尚、大西清澄

【受賞者】 ▼洋画 特選 宮崎嘉夫、片岡福光、森本忠彦 ▼山脇賞 山中律 ▼褒状 田上正文、中川和幸、美馬須美子、岡林修平、水嶋早樹、今城康之、竹中美枝、田中耕二、清水淳平、山中貞巳、土居玖美子、末田光一、山崎泰子、安岡恵里子、新田理恵 ▼日本画 特選 八木明 ▼褒状 下村博志、伊尾木正太郎、岡林秀子 ▼彫塑 特選 橋本和康 ▼褒状 竹島節子、山田健次郎、片岡篤信 ▼工芸 特選 鞆郁摩、吉岡弧石 ▼褒状 田辺豊樹、森田郁雄、竹内昌子、岩本富士男、山村貞行、野波三起、川村きく子、竹本仁王山、沖忠常、田島雅美 ▼書道 特選 澤田明石 ▼褒状 野中紅風、澤谷萬嶽、川崎翠村、川内悠溪、門脇勲、和泉蒼牛、小島弘義、弘末咲翠、町田碧峰、山手沙千、森下昭堂、伊藤丘城、谷通子 ▼写真 特選 浜口俊一、甲原一、国沢隆義 ▼褒状 吉田公一、三木孝重、菅野達也、酒井美子、寺村一雄、明石正、増田公彦、新田澄雄、入交貞悦、森田紘一、永野泰弘、中山健、清遠成男、高芝国彦、川添寛、津野廣幸、田辺哲郎、村上寛、高崎元尚、岡部まさあき ▼商業美術 特選 森本忠彦 ▼褒状 狩野信児、手島健司、松井大洲、中平美由貴 ▼立体作品 特選 狩野信児 ▼褒状 入交京子、北泰子

第34回 (55年)

【概要】 搬入3千46点。特に洋画、書道の搬入増が目を引く。6年ぶりに写真会場も県立郷土文化会館に戻り一段のにぎわい。審査員は中央から藤田吉香(洋画)、工藤甲入(日本画)、秋山庄太郎(写真)。県内から岩貞徳一(彫塑)、矢野道子(書道)が加わる。商業美術をグラフィックデザインに変更。無鑑査に五十嵐恭子、川崎翠村、濱田尚川、森岡盛一郎、松井大洲。この年、2月県展顧問・下司凍月、4月県展創設者の一人・中村博理事長、5月県展会長・高知新聞社長・福田義郎死去。理事長に田岡耕作(日本画)が就任。

【会期】 10月10日～11月2日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 藤田吉香 日本画 工藤甲入 彫塑 松木直人、大野良一、岩貞徳一 工芸 柳原睦夫、井戸碩夫、野本精治、北村文和 書道 松岡雲峰、中田雀邑、矢野道子 写真 秋山庄太郎 グラフィックデザイン 大野龍夫、黒出矩彰、仲隆三 立体作品 高崎元尚、大西清澄

【受賞者】 洋画 特選 田島博巳、田島栄、森下志郎 山脇賞 中脇美佳 褒状 吉岡恒子、大野良一、黒岩清、吉川秀子、村井義勝、河合妙子、町田千代、鳥居昭美、野村誠志、浜口貴美子、竹村豊造、末田光一、島村義一、沖正浩、岡崎誠也 日本画 特選 廣田照子 褒状 渡部ひとみ、田中麗子、中脇美佳 彫塑 特選 小野貞秋 褒状 小松玖美子、井上憲一、片岡篤信 工芸 特選 五十嵐恭子、井内芳樹 褒状 坂本賢造、近藤勉、毛利松代、川村きく子、富浦義嗣、浜田千鶴子、庄崎裕之、伊藤四郎、松岡美穂子、高橋かをり 書道 特選 川崎翠村、濱田尚川 褒状 小西桃春、大野祥雲、弘末咲翠、町田碧峰、森下照堂、岩尾高、和田大康、久保雲涛、吉原小雲、加藤和香、北代碧山、川内悠漢、伊藤丘城 写真 特選 森岡盛一郎、武吉孝夫、公文正昭 褒状 狩野信見、公文光雄、前田日出男、岡村政則、田島睦夫、元吉常太郎、江口十一郎、岩崎勇、坂本巖、岡村龍昇、白川喜一、徳弘剛、足達啓郎、片岡鷹介、酒井美子、大久保清水、西川武通、友永泰弘、中山健 グラフィックデザイン 特選 松井大洲 褒状 梅原真、下元ゆみ、徳広秀幸、狩野信見、竹内研介 立体作品 特選 森木裕貴 褒状 玉造義隆、入交京子、門脇治

第35回 (56年)

【概要】 今年から県展賞新設。無鑑査・推薦・特選・山脇賞作家の中から毎年2部門輪番で2人を選び、副賞として海外美術鑑賞に招待、今回は洋画と日本画。搬入3千635点、入場者3万9千人。審査員は中央から奥谷博(洋画)、村山径(日本画)、植村鷹千代(工芸)、村上三島(書道)、秋山庄太郎(写真)を招く。35回展を記念し「県展作家・人と作品」(1988)出版へ。工芸の野本精治、グラフィックデザインの黒出矩彰死去。

【会期】 10月9日～11月1日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 奥谷博 日本画 村山径 彫塑 松木直人、大野良一、岩貞徳一 工芸 植村鷹千代 書道 村上三島 写真 秋山庄太郎 グラフィックデザイン 黒出矩彰、仲隆三 立体作品 高崎元尚

【受賞者】 洋画 特選 入交啓、中村啓次郎、原篤、中脇美佳 山脇賞 該当なし 褒状 山本幸一、浜口知曉、岡村修、有沢正幸、吉田忠彦、岡林修平、宮本初義、大崎大太郎、沖正浩、森本忠洋、野島忠直、徳久桂子、平田慎一、京嶋祥榮、末田光一、田村裕典 日本画 特選 上田明徳、岡林秀子 褒状 大野良一、中島三子、吉岡恒子 彫塑 特選 竹島節子 褒状 小野寺るか、片岡篤信、松本琢夫 工芸 特選 中屋洋子、富浦義嗣 褒状 田辺豊樹、十川紀代、伊藤四郎、松岡美穂子、笹方一正、山下世賜恵、川上武夫、野波三起、山本真寿、窪田七男生 書道 特選 門脇勲、田村曉鶴 褒状 鏝永、味元紫峰、川谷愛、藤田美津子、高野奇峭、岡本明子、西内清子、横山邦子、北代碧山、宮内郁子、森香代、森川竹翠、矢野鶴子、梶原好泉、依岡紫峰 写真 特選 恒石晃志、飯田治仁、白川喜一 褒状 中越倉雄、岩崎定子、神田恵吉、谷脇芳、岩崎勇、川島宏重、元吉常太郎、田辺哲郎、徳弘剛、田島睦夫、杉内正、木戸誠吉、横山輝男、本田祐造、宮地一栄、市川芳弘、池昌晃、山岡征治、田中佳、狩野信見 グラフィックデザイン 特選 尾崎修二 褒状 大石忠生、佐竹浩三、徳広秀幸、狩野信見、梅原真 立体作品 特選 入交京子 褒状 横谷研二、狩野信見、北泰子

第36回 (57年)

【概要】 搬入数は3千529点。今回も書道の搬入増が目立つ。審査員は中央から芝田米三(洋画)、今野忠一(日本画)、圓鏝勝三(彫塑)、鈴木健二(工芸)、浅香鉄心(書道)、八木下弘(写真)を招く。森本忠彦(洋画)が3度目の特選に輝き、グラフィックデザインと併せて2部門の無鑑査に。福田邦雄理事長代行を3月、県展生みの親の一人、山六郎を10月に失った。

【会期】 10月15日～11月7日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 芝田米三 日本画 今野忠一 彫塑 圓鏝勝三 工芸 鈴木健二 書道 浅香鉄心 写真 八木下弘 グラフィックデザイン 黒出矩彰 仲隆三 立体作品 高崎元尚、都築房子

【受賞者】 洋画 特選 谷相興二、大崎大太郎、森本忠彦 山脇賞 西岡澄恵 褒状 平田慎一、久保田景泉、池田和恵、井上正臣、松岡悦子、田島栄、安田順、竹中美枝、黒岩清、岡林修平、小島薫、村井義勝、中川和幸、新田理恵、小川公美 日本画 特選 西田栄子 褒状 安田美穂、松尾豊美、北代麗子 彫塑 特選 西峰桃子 褒状 小松玖美子、堅田孝政、小野貞秋 工芸 特選 川本健次郎、毛利松代 褒状 平田武喜、篠原速都、田辺豊樹、景山静恵、和留正弘内秀夫、橋村るみ、中根節子、松島世賜恵、福留宏 書道 特選 町田碧峰、鏝永 三浦映泉、西沢史都子、森下照堂、川谷愛、竹内昌子、岡本明子、橋田影月、岩崎放牛、川島郁子、高野奇峭、坂本八衆、梶原好泉、今橋溪雪、松吉豊心、麻植玉泉 写真 特選 岩崎勇、蒲谷秀幸、長田勉 褒状 明石正三、本久国、国沢隆義、森田和幸、市川武、井上憲治、柳村正則、中田博三、平見嘉彦、亀井典子、浜田弘英、永吉昭宏、御厨勝憲、安藤正一、岡田光男、井上雄次、田井宏二郎、山内敏男、酒井美子、土居繁樹 グラフィックデザイン 特選 広川敏之 褒状 佐田久男、手島健司、竹内研介、信田英司、梶原領 立体作品 特選 門田修充 褒状 信田英司、狩野信見、門脇治

第37回 (58年)

【概要】 搬入数は3千974点。書道、写真の県展賞対象部門の搬入増が目立つ。審査員は中央から奥谷博(洋画)、上村淳之(日本画)、浅海蘇山(書道)、奈良原一高(写真)を招く。無鑑査に伊藤丘城(書道)、恒石晃志(写真)。日本画の中島敬朝を6月、洋画の中沢竹太郎を11月に失った。

【会期】 10月14日、11月6日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 奥谷博 日本画 上村淳之 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 井戸碩夫、山村善貞、北村文和、吉岡弧石、五十嵐恭子、丸山和雄 書道 浅海蘇山 写真 奈良原一高 グラフィックデザイン 黒田矩彰、仲隆三 立体作品 都築房子

【受賞者】 県展賞(書道) 吉原巢石(写真) 恒石晃志 洋画 特選 沖正浩、入交啓、中脇美佳 山脇賞 五百蔵裕子 褒状 藤島巖、中村啓次郎、下司博敏、池田和恵、竹村晴夫、浜口知曉、平田慎一、竹中美枝、徳平昌子、岡田喜一、田村裕典、児玉富貴子、浜田清貴、渡辺孝、小川公美 日本画 特選 林利喜世 褒状 竹内清孝、北村はる、市川由美子 彫塑 特選 堅田孝政 褒状 小野貞秋、小野寺るか、井上憲一 工芸 特選 井内芳樹、加藤寛 褒状 松岡美穂子、福留宏、安藤禮子、篠原速都、轍郁摩、上岡小夜子、岩本貞弘、西郷滋、田辺陶豊、西森直史、山本真寿 書道 特選 伊藤丘城、大野祥雲 褒状 今橋溪雪、大野多枝子、城田石峰、杉本高堂、加藤白龍、宮内いく子、古田豊子、森香代、小笠原康子、内川道子、宮田南溟、松崎緑花、石本幸世 写真 特選 恒石晃志、浜口俊一、池昌晃 褒状 米沢正、門田博道、元吉昌友、松木宣博、徳弘和久、永沢悦穂、門脇俊郎、公文光雄、永野一夫、本田祐造、友永泰弘、市川芳弘、永吉昭宏、石川寿朗、徳久静男、山内敏男、三宮健秀、武吉孝夫、桑名源、大西幸進 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 信田英司、手島健司、狩野信児、尾崎修二、徳広秀幸 立体作品 特選 該当なし 褒状 門脇治、公文雄三、信田英司、入交京子

第38回 (59年)

【概要】 搬入数は3千900点、県展賞対象部門のグラフィックデザイン、立体作品は大幅に増となる。総搬入数は前年よりやや減ったものの相変わらずの難関、展示も三段掛けとなるなど混み合い、壁面不足の声も多い。10月に県展作家などを中心に県立美術館建設期成同盟会発足。審査員は中央から島田章三(洋画)、加藤晨明(日本画)、上條信山(書道)、三木淳(写真)、田中一光(グラフィックデザイン)、斎藤義重(立体作品)を招く。無鑑査に古味秀友(洋画)、小野貞秋(彫塑)。2月に工芸の森光喜死去。

【会期】 10月12日、11月4日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 島田章三 日本画 加藤晨明 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 山村善貞、北村文和、吉岡弧石、五十嵐恭子 書道 上條信山 写真 三木淳 グラフィックデザイン 田中一光 立体作品 斎藤義重

【受賞者】 県展賞(グラフィックデザイン) 祖父江建樹(立体作品) 門田修充 洋画 特選 竹村晴夫、松村宣子、古味秀友 山脇賞 佐竹健児 褒状 吉岡恒子、戸田巨男、小川公美、山本幸一、池田和恵、南郷弥、川崎太一、正木誠子、池本充明、中村啓次郎、竹中駒治、中川和幸、片岡福光、原篤、大野長一 日本画 特選 廣田照子 褒状 岡林秀子、栗山威子、渡辺博子、別府道雄 彫塑 特選 小野貞秋 褒状 西本忠男、小野寺るか、門田久美子 工芸 特選 西郷滋、西緑 褒状 富浦義嗣、大原満利子、十川紀代、坂本真生、高橋利美、山本真寿、片岡通人、大木悦三、濱田千鶴子、岡本玲 書道 特選 中平美代子、毛利悠映 褒状 小笠原康子、岩貞大容、麻植玉泉、川内悠溪、岡真知子、宮内いく子、岡林御舟、鏗永、高野奇崎、藤田紅子、竹本溪森、内川道子、新階肖亭、小松翠堂 写真 特選 横田鉄喜、若崎勇、南辰男 褒状 松尾達恵、佐竹けい子、野村節子、小松雄二、井関祐、高野健一郎、吉田満、松田光吉、田辺哲郎、森田統二、南和、岩崎定子、葛目錦彦、本田祐造、狩野信児、川西輝道、友永泰弘、清水隆男、木戸誠吉 グラフィックデザイン 特選 祖父江建樹 褒状 安芸真奈、中島健蔵、山崎道、浜田礼次郎、是沢正二郎 立体作品 特選 門田修充 褒状 岩崎昭司、信田英司、狩野信児、大崎曉驟

第39回 (60年)

【概要】 搬入数は3千672点。彫塑、工芸のほかは前年を下回った。入選、入賞は70点。グラフィックデザインの誤字の多さを指摘される。入場者は3万2千人とやや減少傾向が続く。審査員は中央から宮崎進(洋画)、郷倉和子(日本画)、三木淳(写真)。県内から川崎翠村(書道)、松井大洲、森本忠彦(グラフィックデザイン)が新しく加わる。無鑑査に片岡福光(洋画)。1月に書道の中田雀邑、9月に写真の森岡盛一郎、彫塑の岩貞徳一死去。

【会期】 10月11日、11月3日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 宮崎進 日本画 郷倉和子 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 山村善貞、北村文和、吉岡弧石、五十嵐恭子 書道 松岡雲峰、沢田明子、川崎翠村 写真 三木淳 グラフィックデザイン 黒田矩彰、仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 高崎元尚、都築房子

【受賞者】 洋画 特選 片岡福光、川崎太一、中川和幸 山脇賞 山中裕史 褒状 宮崎剛彦、南郷弥、沢本恵子、安藤義孝、五百蔵裕子、徳平昌子、大黒郁代、中町悦也、浜崎秀嗣、北古味佳代、末田光一、平田慎一、池田広子、川久保明美、西尾治 日本画 特選 土居恒夫 褒状 戸田春子、恒石志津、吉永三重、味元清志、別府道雄 彫塑 特選 西本忠雄 褒状 中屋広隆、堅田孝政、森田伸 工芸 特選 山本真寿、西森直史 褒状 吉良博、福留信敏、岩本貞弘、岡本玲、島津登美、野村ナナミ、大木悦三、井内芳樹、和田正、加藤寛 書道 特選 吉川祥雲、門脇治 褒状 加藤白龍、武内裕園、沢谷万岳、天野紅花、小松渥子、橋田影月、小松翠堂、町田碧峰、矢島京華、筒井タカ子、片山桃華、岩原朱灯、田原隆義、植田美智子 写真 特選 田尾定意、国沢隆義、野島志夫 褒状 小松将典、桑名源、和田唯由、野村節子、森本健児、寺村一雄、池昌晃、前田昇、川添浩介、山崎康豊、田辺哲郎、平見嘉彦、川西輝道、山内敏男、増田公彦、櫻谷雅道、久保一、恒石宗紀、狩野信児 グラフィックデザイン 特選 該当なし 褒状 池島正男、尾崎修二、竹内研介、狩野信児、如山雅子、上田祐嗣 立体作品 特選 信田英司 褒状 入交京子、川上剛男

第40回(61年)

【概要】 搬入数は3千815点。40回展記念として無鑑査、推薦も含めた作品の中から選ぶ県展大賞を特設する。また県展功労者として、田岡耕作、筒井広道、濱口富治、横田照生、光本三千萬、田口吉明の6氏を表彰、華道協和会、裏千家淡交会青年部高知支部に感謝状を贈る。さらに、山脇信徳画伯の絵によるテレホンカードを作製する。審査員は中央から国領経郎(洋画)、上村淳之(日本画)、戸田提山(書道)、稲村隆正(写真)、中原佑介(立体作品)を招く。無鑑査に井内芳樹(工芸)、岩崎勇(写真)。12月に工芸の浜田晃優死去。

【会期】 10月10日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 国領経郎 日本画 上村淳之 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 山村善貞、北村文和、吉岡弘石、五十嵐恭子 書道 戸田提山 写真 稲村隆正 グラフィックデザイン 黒田矩彰、仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 中原佑介
【受賞者】 県展大賞(洋画) 川崎太一(日本画) 市川雅彦(彫塑) 小野貞秋(工芸) 井内芳樹(書道) 濱田尚川(写真) 三宮信好(グラフィックデザイン) 狩野信児(立体作品) 藤田威佳志 洋画 特選 久保田景泉、竹中美枝、平田慎一 山脇信一 柏井須雅 褒状 新田理恵、土居玖美子、中村啓次郎、土居満夫、児玉富貴子、沢本恵子、中村文子、山本幸一、多田和彦、山本二昭、磯部巖、松岡悦子、原篤、水田隆和、坂田和 日本画 特選 市川雅彦 褒状 吉川富志子、林利喜世、岩村勝美、上原幸子、竹本操 彫塑 特選 堅田孝政 褒状 西峰桃子、森田伸 中沢真理 工芸 特選 井内芳樹、西郁滋 褒状 大原満利子、岩本貞弘、庄崎裕之、小嶋博子、吉良博、岡本玲福富恒彦、富浦義嗣、大木悦三、野村ナナミ 書道 特選 長門喜美、鵜永 褒状 坂本扇翠、澤田叩石、山本智子、正岡翠峰、田中白耀、谷淵龍翠、町田碧峰、小島弘義、坂本八衆、弘末咲英、横山才好、都築瑞、大野祥雲、原揚光 写真 特選 三宮信好、岩崎勇、溝淵博彦 褒状 宮地幸、山崎義章、佐竹博、門田博道、小松裕夫、公文光雄、谷田昌水、清水隆男、岡林裕子、西川武夫、久交貞悦、広瀬道雄、入野俊三、田村雅明、浜口和子、小松雄二、岡本博雄、佐々木秀明、三好長務 グラフィックデザイン 特選 狩野信児 褒状 尾崎修二、竹内研介、中平明美、山脇博之、佐田久男 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 門田修充、森本裕貴、狩野信児、藤崎幸雄

【概要】 搬入数は3千693点。入選、入賞は717点。展示作品に女性作家が多くなる。県立美術館を高知市高須に建設する計画案が発表される。審査員は中央から荻太郎(洋画)、岩沢重夫(日本画)、稲村隆正(写真)、県内から吉原果石(書道)が新しく加わる。無鑑査に竹村晴夫(洋画)、大野祥雲、澤田叩石(書道)、門田修充(立体作品)。6月に洋画の中屋一死去。
【会期】 10月9日～11月1日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 荻太郎 日本画 岩沢重夫 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 山村善貞、北村文和、吉岡弘石、五十嵐恭子 書道 光本三千萬、中平松鶴、吉原果石 写真 稲村隆正 グラフィックデザイン 黒田矩彰、仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 高崎元尚、大西清澄、都築房子
【受賞者】 洋画 特選 谷相興二、竹村晴夫、正木誠子 山脇賞 竹村佳代 褒状 小島直子、大野良一、美馬須美子、土居満夫、竹村真、中村文子、田上正文、土居玖美子、毛利静香、島村義一、磯部巖、武内光仁、坂田和、中沢利昭、川崎太一 日本画 特選 小野保 褒状 横山善彦、奥田寛子、岡崎貴久代、三輪多津子、橋詰喜美子 彫塑 特選 森田桂子 褒状 西本忠男、岩上由利子、井上文子 工芸 特選 野村ナナミ、池本富士男 褒状 丹下登、芸父哲子、依岡敏彦、中沢としみ、浜田千鶴子、吉良博、青木邦子、永野弥太郎、篠原速都、大木悦三 書道 特選 澤田叩石、大野祥雲 褒状 内川道子、和田大康、田中白耀、和泉蒼牛、川添龍翠、森本栖冬、森下照堂、泉景湖、野村霜石、久川沙舟 写真 特選 野村泰弘、新階肖亭、森瑞泉、小西桃春、坂本八衆、藤田紅子、野村鑑三、野島志夫、竹村和芳、門脇悟、西内則明、吉田満、岡林裕子、谷脇芳、小松雄二、神田恵吉、佐々木哲実、金沢あけみ、南辰男、青木英雄、岡崎弘子、水田貴士、井関拓、依岡敏彦、田村雅明、中島健蔵、末次正喜 グラフィックデザイン 特選 手島健司 褒状 森岡雅子、竹内研介、尾崎修二、中平美由貴、中根加奈 立体作品 特選 門田修充 褒状 川上剛男、小原典子、狩野信児

第41回(62年)

【概要】 搬入数は3千491点。入選、入賞は713点。各方面の要望により会期中に一日だけ月曜日を開館しまた会期も文化の日までと例年より延長する。入場者数3万4千人。審査員は中央から利根山光人(洋画)、松本哲男(日本画)、吉田左源二(工芸)、宮本竹運(書道)、森永純(写真)、県内から門田修充(立体作品)が新しく加わる。無鑑査に西郁滋(工芸)。3月にグラフィックデザインの黒田矩彰、7月に書道の黒原雲峰死去。
【会期】 10月7日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 利根山光人 日本画 松本哲男 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 吉田左源二 書道 宮本竹運 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充
【受賞者】 洋画 特選 中沢利昭、久保田景泉、末田光一 山脇賞 武内比呂武 褒状 川島明、大野良一、三上美智子、佐竹茂、松木峯、徳久茂、細川義彰、松岡悦子、磯部巖、茨木富子、田井清賀、岡崎安夫、新妻洋一、平田慎一、西内三喜子 日本画 特選 横田節子 褒状 三輪多津子、恒石志津、岩村勝美、北代れいこ、岡林絵里 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 西本忠男、萩原良子、池上由利子 工芸 特選 西郁滋、上岡小夜子 褒状 庄崎裕之、伊野部敦子、長瀬文恵、半田喜久男、上田美智子、三木良子 書道 特選 小島土洲、麻植瑠園、和泉蒼牛 褒状 竹内昌子、谷合左近子、中岡真知子、近藤蓮花、岡崎昌子、新階肖亭、横山才子、加藤和香、武井久子、森下照堂、都築香丘、野口柏翠、高見志香、澤谷萬嶽、橋田彰 写真 特選 野村節子、谷次郎、神田恵吉 褒状 徳弘明、清水隆男、横田鐵喜、谷脇正人、田辺哲郎、大坪享介、佐竹博、竹内律二、坂本洋一、宮脇正光、徳弘和久、田島一美、片岡諒、佐々木哲実、浜口和子、小橋徳男、森本忠純、山脇純、北岡秀男、西内久明 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 森岡雅子、出水華代、狩野信児、中平美由貴、祖父江建樹 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 小原典子、北泰子、入交京子

【概要】 搬入数は3千491点。入選、入賞は713点。各方面の要望により会期中に一日だけ月曜日を開館しまた会期も文化の日までと例年より延長する。入場者数3万4千人。審査員は中央から利根山光人(洋画)、松本哲男(日本画)、吉田左源二(工芸)、宮本竹運(書道)、森永純(写真)、県内から門田修充(立体作品)が新しく加わる。無鑑査に西郁滋(工芸)。3月にグラフィックデザインの黒田矩彰、7月に書道の黒原雲峰死去。
【会期】 10月7日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 利根山光人 日本画 松本哲男 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 吉田左源二 書道 宮本竹運 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充
【受賞者】 洋画 特選 中沢利昭、久保田景泉、末田光一 山脇賞 武内比呂武 褒状 川島明、大野良一、三上美智子、佐竹茂、松木峯、徳久茂、細川義彰、松岡悦子、磯部巖、茨木富子、田井清賀、岡崎安夫、新妻洋一、平田慎一、西内三喜子 日本画 特選 横田節子 褒状 三輪多津子、恒石志津、岩村勝美、北代れいこ、岡林絵里 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 西本忠男、萩原良子、池上由利子 工芸 特選 西郁滋、上岡小夜子 褒状 庄崎裕之、伊野部敦子、長瀬文恵、半田喜久男、上田美智子、三木良子 書道 特選 小島土洲、麻植瑠園、和泉蒼牛 褒状 竹内昌子、谷合左近子、中岡真知子、近藤蓮花、岡崎昌子、新階肖亭、横山才子、加藤和香、武井久子、森下照堂、都築香丘、野口柏翠、高見志香、澤谷萬嶽、橋田彰 写真 特選 野村節子、谷次郎、神田恵吉 褒状 徳弘明、清水隆男、横田鐵喜、谷脇正人、田辺哲郎、大坪享介、佐竹博、竹内律二、坂本洋一、宮脇正光、徳弘和久、田島一美、片岡諒、佐々木哲実、浜口和子、小橋徳男、森本忠純、山脇純、北岡秀男、西内久明 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 森岡雅子、出水華代、狩野信児、中平美由貴、祖父江建樹 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 小原典子、北泰子、入交京子

【概要】 搬入数は3千491点。入選、入賞は713点。各方面の要望により会期中に一日だけ月曜日を開館しまた会期も文化の日までと例年より延長する。入場者数3万4千人。審査員は中央から利根山光人(洋画)、松本哲男(日本画)、吉田左源二(工芸)、宮本竹運(書道)、森永純(写真)、県内から門田修充(立体作品)が新しく加わる。無鑑査に西郁滋(工芸)。3月にグラフィックデザインの黒田矩彰、7月に書道の黒原雲峰死去。
【会期】 10月7日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 利根山光人 日本画 松本哲男 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 吉田左源二 書道 宮本竹運 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充
【受賞者】 洋画 特選 中沢利昭、久保田景泉、末田光一 山脇賞 武内比呂武 褒状 川島明、大野良一、三上美智子、佐竹茂、松木峯、徳久茂、細川義彰、松岡悦子、磯部巖、茨木富子、田井清賀、岡崎安夫、新妻洋一、平田慎一、西内三喜子 日本画 特選 横田節子 褒状 三輪多津子、恒石志津、岩村勝美、北代れいこ、岡林絵里 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 西本忠男、萩原良子、池上由利子 工芸 特選 西郁滋、上岡小夜子 褒状 庄崎裕之、伊野部敦子、長瀬文恵、半田喜久男、上田美智子、三木良子 書道 特選 小島土洲、麻植瑠園、和泉蒼牛 褒状 竹内昌子、谷合左近子、中岡真知子、近藤蓮花、岡崎昌子、新階肖亭、横山才子、加藤和香、武井久子、森下照堂、都築香丘、野口柏翠、高見志香、澤谷萬嶽、橋田彰 写真 特選 野村節子、谷次郎、神田恵吉 褒状 徳弘明、清水隆男、横田鐵喜、谷脇正人、田辺哲郎、大坪享介、佐竹博、竹内律二、坂本洋一、宮脇正光、徳弘和久、田島一美、片岡諒、佐々木哲実、浜口和子、小橋徳男、森本忠純、山脇純、北岡秀男、西内久明 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 森岡雅子、出水華代、狩野信児、中平美由貴、祖父江建樹 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 小原典子、北泰子、入交京子

第42回(63年)

【概要】 搬入数は3千491点。入選、入賞は713点。各方面の要望により会期中に一日だけ月曜日を開館しまた会期も文化の日までと例年より延長する。入場者数3万4千人。審査員は中央から利根山光人(洋画)、松本哲男(日本画)、吉田左源二(工芸)、宮本竹運(書道)、森永純(写真)、県内から門田修充(立体作品)が新しく加わる。無鑑査に西郁滋(工芸)。3月にグラフィックデザインの黒田矩彰、7月に書道の黒原雲峰死去。
【会期】 10月7日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 利根山光人 日本画 松本哲男 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 吉田左源二 書道 宮本竹運 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充
【受賞者】 洋画 特選 中沢利昭、久保田景泉、末田光一 山脇賞 武内比呂武 褒状 川島明、大野良一、三上美智子、佐竹茂、松木峯、徳久茂、細川義彰、松岡悦子、磯部巖、茨木富子、田井清賀、岡崎安夫、新妻洋一、平田慎一、西内三喜子 日本画 特選 横田節子 褒状 三輪多津子、恒石志津、岩村勝美、北代れいこ、岡林絵里 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 西本忠男、萩原良子、池上由利子 工芸 特選 西郁滋、上岡小夜子 褒状 庄崎裕之、伊野部敦子、長瀬文恵、半田喜久男、上田美智子、三木良子 書道 特選 小島土洲、麻植瑠園、和泉蒼牛 褒状 竹内昌子、谷合左近子、中岡真知子、近藤蓮花、岡崎昌子、新階肖亭、横山才子、加藤和香、武井久子、森下照堂、都築香丘、野口柏翠、高見志香、澤谷萬嶽、橋田彰 写真 特選 野村節子、谷次郎、神田恵吉 褒状 徳弘明、清水隆男、横田鐵喜、谷脇正人、田辺哲郎、大坪享介、佐竹博、竹内律二、坂本洋一、宮脇正光、徳弘和久、田島一美、片岡諒、佐々木哲実、浜口和子、小橋徳男、森本忠純、山脇純、北岡秀男、西内久明 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 森岡雅子、出水華代、狩野信児、中平美由貴、祖父江建樹 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 小原典子、北泰子、入交京子

【概要】 搬入数は3千491点。入選、入賞は713点。各方面の要望により会期中に一日だけ月曜日を開館しまた会期も文化の日までと例年より延長する。入場者数3万4千人。審査員は中央から利根山光人(洋画)、松本哲男(日本画)、吉田左源二(工芸)、宮本竹運(書道)、森永純(写真)、県内から門田修充(立体作品)が新しく加わる。無鑑査に西郁滋(工芸)。3月にグラフィックデザインの黒田矩彰、7月に書道の黒原雲峰死去。
【会期】 10月7日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 利根山光人 日本画 松本哲男 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 吉田左源二 書道 宮本竹運 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充
【受賞者】 洋画 特選 中沢利昭、久保田景泉、末田光一 山脇賞 武内比呂武 褒状 川島明、大野良一、三上美智子、佐竹茂、松木峯、徳久茂、細川義彰、松岡悦子、磯部巖、茨木富子、田井清賀、岡崎安夫、新妻洋一、平田慎一、西内三喜子 日本画 特選 横田節子 褒状 三輪多津子、恒石志津、岩村勝美、北代れいこ、岡林絵里 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 西本忠男、萩原良子、池上由利子 工芸 特選 西郁滋、上岡小夜子 褒状 庄崎裕之、伊野部敦子、長瀬文恵、半田喜久男、上田美智子、三木良子 書道 特選 小島土洲、麻植瑠園、和泉蒼牛 褒状 竹内昌子、谷合左近子、中岡真知子、近藤蓮花、岡崎昌子、新階肖亭、横山才子、加藤和香、武井久子、森下照堂、都築香丘、野口柏翠、高見志香、澤谷萬嶽、橋田彰 写真 特選 野村節子、谷次郎、神田恵吉 褒状 徳弘明、清水隆男、横田鐵喜、谷脇正人、田辺哲郎、大坪享介、佐竹博、竹内律二、坂本洋一、宮脇正光、徳弘和久、田島一美、片岡諒、佐々木哲実、浜口和子、小橋徳男、森本忠純、山脇純、北岡秀男、西内久明 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 森岡雅子、出水華代、狩野信児、中平美由貴、祖父江建樹 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 小原典子、北泰子、入交京子

【概要】 搬入数は3千491点。入選、入賞は713点。各方面の要望により会期中に一日だけ月曜日を開館しまた会期も文化の日までと例年より延長する。入場者数3万4千人。審査員は中央から利根山光人(洋画)、松本哲男(日本画)、吉田左源二(工芸)、宮本竹運(書道)、森永純(写真)、県内から門田修充(立体作品)が新しく加わる。無鑑査に西郁滋(工芸)。3月にグラフィックデザインの黒田矩彰、7月に書道の黒原雲峰死去。
【会期】 10月7日～11月3日
【会場】 県立郷土文化会館
【審査員】 洋画 利根山光人 日本画 松本哲男 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 吉田左源二 書道 宮本竹運 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充
【受賞者】 洋画 特選 中沢利昭、久保田景泉、末田光一 山脇賞 武内比呂武 褒状 川島明、大野良一、三上美智子、佐竹茂、松木峯、徳久茂、細川義彰、松岡悦子、磯部巖、茨木富子、田井清賀、岡崎安夫、新妻洋一、平田慎一、西内三喜子 日本画 特選 横田節子 褒状 三輪多津子、恒石志津、岩村勝美、北代れいこ、岡林絵里 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 西本忠男、萩原良子、池上由利子 工芸 特選 西郁滋、上岡小夜子 褒状 庄崎裕之、伊野部敦子、長瀬文恵、半田喜久男、上田美智子、三木良子 書道 特選 小島土洲、麻植瑠園、和泉蒼牛 褒状 竹内昌子、谷合左近子、中岡真知子、近藤蓮花、岡崎昌子、新階肖亭、横山才子、加藤和香、武井久子、森下照堂、都築香丘、野口柏翠、高見志香、澤谷萬嶽、橋田彰 写真 特選 野村節子、谷次郎、神田恵吉 褒状 徳弘明、清水隆男、横田鐵喜、谷脇正人、田辺哲郎、大坪享介、佐竹博、竹内律二、坂本洋一、宮脇正光、徳弘和久、田島一美、片岡諒、佐々木哲実、浜口和子、小橋徳男、森本忠純、山脇純、北岡秀男、西内久明 グラフィックデザイン 特選 竹内研介 褒状 森岡雅子、出水華代、狩野信児、中平美由貴、祖父江建樹 立体作品 特選 藤田威佳志 褒状 小原典子、北泰子、入交京子

第43回(元年)

【概要】 搬入数は3千675点。入選、入賞は799点。昨年引き続き会期中に一日だけ月曜閉館を実施。入場者数3万2千人。審査員は中央から大沼映夫(洋画)、近藤弘明(日本画)、澄川喜一(彫塑)、長谷部満彦(工芸)、森永純(写真)。

【会期】 10月13日、11月5日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 大沼映夫 日本画 近藤弘明 彫塑 澄川喜一 工芸 長谷部満彦 書道 田中白歩 矢野道子 川崎翠村 写真 森永純 グラフィックデザイン 仲隆三、松井大洲、森本忠彦 立体作品 都築房子、門田修充

【受賞者】 洋画 特選 矢部節子、名本英樹、沢近誠 山脇賞 竹村佐知 褒状 松木峯、森下長子、梅原芳純、三上美智子、坂田和、山本幸一、川田久寿、竹中駒治、二神敬之介、中平博之、濱崎秀嗣、山本太一、小松一洋、西内三喜子、祖父江建樹、日本画 特選 吉松秀美 褒状 岡林秀子、濱田明利、竹村初江、岡林絵里、山崎美紀子 彫塑 特選 西本忠男 褒状 吉良修、金子臣宏、井上文子 工芸 特選 岡本玲、吉本沢子 褒状 庄崎裕之、長瀬文恵、山本真寿、渡辺真佐、坂本圭一、半田喜久男、養父哲子、陸野美佐子、乾真紀子、加藤寛 書道 特選 三垣咲雨、野村霜石、奥代静世 褒状 内川道子、北古味可葉、和田大康、森瑞泉、田中白燿、矢島京華、玉井美賀、西村翠雲、佐々木昌子、依岡紫峰、久保雲涛、橘黄華、町田碧峰、大野多枝子、川内悠溪 写真 特選 平見嘉彦、和田唯由、山下功 褒状 横矢実穂、中久保昌助、五百蔵速喜、山崎泰広、吉田公一、谷田昌水、元吉常太郎、田内喜美子、南辰男、福永利江、谷静男、藤田優香、戸梶一哲、清岡雅彦、川田貴一、竹内律二、田島一美、宮地哲、公文正昭、渡辺剛

グラフィックデザイン 特選 狩野信児 褒状 手島健司、佐田久男、弘瀬ともこ、竹中彰彦、真鍋久子 立体作品 特選 田村建士 褒状 吉良修、狩野信

第44回(2年)

【概要】 搬入数は3千755点。入選、入賞は715点。月曜閉館は例年通り実施。入場者数3万1千人。プレ45回展として『私と県展』を目録に掲載。審査員は中央から岩沢重夫(日本画)、長谷部満彦(工芸)、戸田提山(書道)、野町和嘉(写真、永井一正)グラフィックデザイン、村岡三郎(立体作品)。洋画部審査員は23回展以来の原内審査員となり谷岡久、吉井英二が新しく加わる。無鑑査に島村義一(洋画)。

【会期】 10月12日、11月4日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 筒井広道、濱口富治、谷岡久吉、吉井英二 日本画 岩沢重夫 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 長谷部満彦 書道 戸田提山 写真 野町和嘉 グラフィックデザイン 永井一正 立体作品 村岡三郎

【受賞者】 洋画 特選 大黒郁代、加藤勝久、島村義一 山脇賞 影山千夏 褒状 谷相興二、筒井清一、多田和彦、武内光仁、坂田和、島山幸彦、竹中美枝、二神敬之介、祖父江建樹、川崎友子、浜田耕一、久保田景泉、水田隆釋、末田光一、平田慎一 日本画 特選 松本紀子 褒状 濱田明利、近沢敏子、横山善彦、山崎美紀子、松井みき子 彫塑 特選 山岡良仁 褒状 井上文子、池上由利子、伊藤竜一 工芸 特選 篠原速都、池田俊子 褒状 庄崎裕之、福永久子、青木邦子、三木良子、川村光明、沢村光子、野村知、山本和郎、小原寿子、上村宣道 書道 特選 福原暁雲、野村光雨、内川道子 褒状 田中白燿、鎌永、藤崎裕水、古田彩香、池上佳代、松本深泉、田碧峰、小島弘義、小島土洲、麻植瑠岡、和田大康、森本栖冬、山本智子、和泉蒼牛、山田溪蓀 写真 特選 井関拓、森下賢一、山脇勉 褒状 野村節子、南辰男、坂本洋一、田内喜美子、西尾精祐、大野建夫、森野牧夫、野口務、小松辰男、谷次郎、川村涉、安岡宗一郎、櫻谷雅道、友永泰弘、徳久静男、和田晶雄、岡本守正、三宮健秀、門脇悟、中田博三 グラフィックデザイン 特選 松田雅子 褒状 三宮紳二、佐田久男、狩野ともこ、手島健司、入江佐知子 立体作品 特選 森木裕貴 褒状 藤田威佳志、入交京子、狩野信児

第45回(3年)

【概要】 搬入数は3千645点。入選、入賞は719点。入場者数3万1千人。45回展記念として5月に「なつかしの県展」を開催。県展25回までの招待、特選、審査員作品約100点と豊富な新聞資料を展示。県展功労者として楠本正直、山本梅尾、福原云外、杉本正、高崎元尚の5氏を表彰。高知県美術振興会から初入賞者を対象に高知県美術振興会奨励賞を贈る。審査員は全部門県外から招聘。無鑑査に谷相興二(洋画)、小野保(日本画)、西本忠男(彫塑)。5月に日本画審査員で元理事長の田岡耕作(秋砂)死去。理事長に桑尾泰行(高知新聞社)が就任。

【会期】 10月11日、11月4日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 野田弘志 日本画 後藤純男 彫塑 一色邦彦 工芸 鈴木健二 書道 小本太法 写真 野町和嘉 グラフィックデザイン 松永真 立体作品 田村三郎

【受賞者】 洋画 特選 谷相興二、安藤義孝、川崎友子 山脇賞 安井勝宏 褒状 渡辺正雄 褒状 渡辺正雄、中沢利昭、武内光仁、小島直子、土居玖美子、筒井清一、玉造義隆、久保田景泉、川崎太一、山本幸一、浜崎秀嗣、本田隆利、入交啓、末田光一、平田慎一 日本画 特選 小野保 褒状 陣内明子 褒状 陣内明子、林真弓子、岡林絵里、恒石秋子、八木明 彫塑 特選 西本忠男 褒状 小松澄子、金子臣宏、門田久美子 工芸 特選 長瀬文恵、沢村光子 褒状 上田光代 褒状 上田光代、浜田政子、寺尾邦子、三木良子、猪野善雄、小原寿子、徳弘泰夫、青木邦子、川村雄二、川村光明 書道 特選 弘末咲翠、和田大康、和泉蒼牛 褒状 山崎一草 褒状 山崎一草、秋沢五月、小島土洲、新階肖亭、上岡白雨、加藤和香、森本栖冬、柿葉梢風、小笠原幸、須賀宜山、北村華堂、竹村雀翠、山岡曉美、関田菊子、岩貞大容 写真 特選 津野廣幸、山本峯子、小松忍 褒状 山本峯子 褒状 黒川二三生、野村節子、横田鐵喜、横矢実穂、吉門司郎、門田節、南辰男、入交貞悦、小松辰男、沢田聡、金沢あけみ、明神良雄、大崎愛子、宮地哲、西村景介、永吉昭宏、西峰登、宇久真道、川村涉、明坂吉男 グラフィックデザイン 特選 尾崎由味子 褒状 尾崎由味子 褒状 狩野信児、狩野ともこ、三宮紳二、手島健司、本久恵美子 立体作品 特選 池上志朗 褒状 池上志朗 褒状 岡本佳奈、北泰子、名本英樹

※奨励賞 高知県美術振興会奨励賞

第46回(4年)

【概要】 郷土文化会館での開催最後の年で、史上初の二期制(前期)洋画・日本画・グラフィックデザイン・立体作品(後期)彫塑・工芸・書道・写真で行われた。搬入数4434点は史上最高。各部門の展示スペースが広がり入選、入賞数も930点に増えた。入場者は前期1万3千800人、後期1万7千400人。郷土開港最後を記念して各部門の無鑑査、推薦を对象に「県展特別賞」を選考。理事長に筒井広道(洋画)が就任。無鑑査に竹内研介(グラフィックデザイン)。10月に門谷南嶺(日本画)死去。

【会期】 前期 9月22日~10月4日
後期 10月13日~10月25日

【会場】 県立郷土文化会館

【審査員】 洋画 山本文彦(日本画) 上村淳之 彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一 工芸 皆川 泰蔵 書道 甫田鶏川 西本支星 写真 竹内敏信

▼立体作品 高崎元尚、門田修充
【受賞者】 県展特別賞(洋画) 岩合泰治(日本画) 小野保(彫塑) 西本忠男(工芸) 井内芳樹(書道) 和田大康(写真) 松村一位(洋画) 特選 末田光一、川崎太一、矢部節子(山脇賞) 三木守(奨励賞) 久武知佐子(褒状) 伊藤信晃、美馬須美子、安田昭、久保田景泉、正木誠子、澤本恵子、光内尊、中沢利昭、加藤勝久、岩村育子、沢近誠一、浜田耕一、平田慎一、竹中美枝、久武知佐子 ▼日本画 特選 林利喜世(奨励賞) 川崎京子(褒状) 中田雅子、市川雅彦、岡本絵里、江口増水 ▼彫塑 特選 浜田五月子(奨励賞) 山岡利行(褒状) 堀内理砂、片岡篤信、山岡利行 ▼工芸 特選 猪野善雄、北村卓也(奨励賞) 西川ゆう子(褒状) 西川ゆう子、岡本玲、島田瞳、三木良子、青木那子、帆足由美、田中耕二、庄崎裕之、南照、上村宣道 ▼書道 特選 川添龍翠、麻植瑠園、岩貞大容(奨励賞) 田内桜霞(褒状) 野村光雨、山本智子、田内桜霞、森光琴鈴、靱木、村山千華、谷合左近子、依岡紫峰、川島舟錦、西岡桂翠、中村元昭、中平美代子、西岡双葉、川内悠悠、松本深泉 ▼写真 特選 桑名隆一郎、三宮健秀、西村景介(奨励賞) 占野富士雄(褒状) 吉田公一、安田定司、片岡鶴吉、田中甲、本田祐造、和田唯由、久保一、井関拓、富田明、岡崎三千亀、野村節子、大関茂雄、竹村豊造、山本一清、安岡一成、島内勇征、若崎敬太郎、森田精二、池昌晃、占野富士雄 ▼グラフィックデザイン 特選 竹内研介(奨励賞) 佐竹直美(褒状) 佐田久男、渡辺雅子、手島健司、出水華代、佐竹直美 ▼立体作品 特選 入交京子(褒状) 狩野信児、小原典子、田村建士

【概要】 待望の県立美術館が11月に完成し、柿落としの意味合いで変則12月に開催。前夜祭では花火で祝った。搬入数4千98点。入選、入賞数689点。入場者数3万7千500人。期待に反して展示場スペースが狭く、回廊展示も不評。常設展示場開放や二期制検討の声が上がった。美術館開港最初を記念して各部門の無鑑査、推薦を对象に「県展特別賞」を選考。無鑑査に和泉蒼牛(書道)。1月に杉本正(写真)、6月に井戸碩夫(工芸)死去。

【会期】 12月3日~26日

【会場】 県立美術館

【審査員】 洋画 野見山暁治(日本画) 大塚明 彫塑 手塚登久夫 工芸 嶋崎丞 書道 榎倉香 中野北溟 写真 江成常夫 グラフィックデザイン 竹内和夫 ▼立体作品 建島寛造

▼受賞者 県展特別賞(洋画) 矢部節子(日本画) 小野保(彫塑) 西本忠男(工芸) 西郷滋(書道) 中川子鶴(写真) 三宮健秀(グラフィックデザイン) 竹内研介(立体作品) 入交京子(洋画) 特選 有沢正幸、浜田耕一、小原典子(山脇賞) 川村百都子(奨励賞) 朝比奈富美子(褒状) 古谷洋一、加藤勝久、竹中美枝、筒井清一、山本幸一、池田和恵、石谷伏、田辺政美、土居秋美子、堀内理香、玉造義隆、朝比奈富美子、沢近誠一、野中裕子、沢本恵子 ▼日本画 特選 上田明德(奨励賞) 中沢和恵(褒状) 常石一子、横田節子、中沢和恵、市川雅彦、大野寿代 ▼彫塑 特選 井上香二(奨励賞) 井上香二(褒状) 山岡利行、金子臣宏、片岡篤信 ▼工芸 特選 浜田政子、篠原速都(奨励賞) 岡林早苗(褒状) 大原満利子、佐竹勝則、岡林早苗、加藤広子、西岡祐、庄崎裕之、島田瞳、柴田多賀子、南照、小島薫 ▼書道 特選 藤田紅子、和泉蒼牛、横本信枝(奨励賞) 横本信枝(褒状) 富永恵泉、中山就介、小松徳子、吉村文子、森下照堂、島村好子、西岡桂翠、西内好康、河添彬、西村好子、中田九外、竹村雀翠、三谷好子、橋田影月 ▼写真 特選 宮崎益幸、佐竹博、谷脇正人(奨励賞) 宮崎益幸(褒状) 入野俊三、山脇博之、多男、三宮富富子、三木忠義、近藤輝代、明坂吉男、泰村謙一、岡田恵子、井関拓、和田徳彦、高橋正子、浜田啓、山崎房好、岩崎定子、野口務、谷次郎、池田俊明、安田定司、岡本守正 ▼グラフィックデザイン 特選 手島健司(褒状) 出水華代、尾崎修二、祖父江建樹、狩野信児、中島健蔵 ▼立体作品 特選 信田英司(褒状) 横谷研二、藤田威佳志、狩野信児

第47回(5年)

【概要】 搬入数は3千845点。入選、入賞は799点。入場者数は前期1万7千900人、後期2万200人。前期(洋画、日本画、グラフィックデザイン、立体作品)後期(彫塑、工芸、書道、写真)の二期制で開催された。11月に「移動高知新聞」の催事で「第48回県展・選抜展」を大方町体育館で開催。無鑑査に麻植瑠園(書道)、森木裕貴(立体作品)。2月に松岡雲峰(書道)、7月に古谷咲洋(日本画)、8月に寺田正(写真)死去。

【会期】 前期 9月30日~10月10日
後期 10月20日~10月30日

【会場】 県立美術館

【審査員】 洋画 佐々木豊(日本画) 松尾敏男 彫塑 小田襄 工芸 白石和己 書道 浅香鉄心、黒野清宇 写真 植田正治 グラフィックデザイン 福田繁雄 立体作品 建島哲

▼受賞者 県展特別賞(洋画) 貞廣英明(日本画) 山本卓子(彫塑) 井上香二(工芸) 井内芳樹(書道) 和泉蒼牛(写真) 松村一位(グラフィックデザイン) 手島健司(立体作品) 信田英司(洋画) 特選 山下カオル、佐藤篤、大黒郁代(山脇賞) 竹中優子(奨励賞) 佐藤篤(褒状) 名本英樹、加藤博史、堀内理香、大崎みどり、木村正寛、安井勝宏、川崎友子、入交啓、山崎立子、山本十三子、武内光仁、美馬須美子、濱崎秀嗣、竹中美枝、川崎太一 ▼日本画 特選 荒木陽一(奨励賞) 荒木陽一(褒状) 近沢敬子、陣内明子、土居恒夫、橋詰喜美子、市川雅彦 ▼彫塑 特選 片岡篤信(奨励賞) 山本祐市(褒状) 山本祐市、小野寺るか、金子臣宏 ▼工芸 特選 上村宣道、西川ゆう子(奨励賞) 島崎桂介(褒状) 小島薫、山本真壽、山崎昭八郎、吉光誠之、島津登美、柴田多賀子、川本恵子、永野弥太郎、島崎桂介、近森けい子 ▼書道 特選 常光雨汀(褒状) 加藤和香、麻植瑠園(奨励賞) 常光雨汀(褒状) 都築墨朋、野村光雨、渋谷加寿子、川添龍翠、柳井具江、平山信子、森下照堂、橋田影月、中岡真知子、早田若石、山崎白汀、福原曉雲、小松翠堂、三浦映泉、松本大游 ▼写真 特選 山本一清、善内晴朗、津野廣幸(奨励賞) 竹内晴朗(褒状) 松岡松是寿、竹村鈴子、神田恵吉、中西築夫、長野茂、澤田美栄子、吉岡桂一、安田定司、吉門司郎、上野幸男、宮川和之、栗山文子、和田唯由、南塚香慧、安丸修身(グラフィックデザイン) 特選 佐田久男(奨励賞) 清水晋士(褒状) 中平順子、清水晋士、宮田孝志、祖父江建樹、小笠原まき ▼立体作品 特選 森木裕貴(奨励賞) 辻野栄一(褒状) 藤田威佳志、入交京子、辻野栄一

第48回(6年)

第49回(7年)

概要 搬入数は3千953点。入選、入賞は801点。入場者数は前期1万7千200人、後期1万9千500人。前期(洋画、書道、写真、工芸、立体作品)後期(洋画、日本画、彫塑、グラフィックデザイン)の二期制で開催された。洋画、写真の2部門では、出品規定に抵触、あるいは出品者のモラルが問われ、出品が問題となった。無鑑査に川崎太一(洋画)、上田明德(日本画)、篠原速都(工芸)。1月に田口吉明(写真、5月に北添直之(写真)、光本三千萬(書道)、7月に島村治文(彫塑)死去。

【会場】 県立美術館 前期 10月5日~10月17日 後期 10月25日~11月5日

【審査員】 洋画 宮崎進、日本画 滝沢具幸、彫塑 西常雄、工芸 長谷部満彦、書道 浅見錦龍、赤江華城、写真 植田正治、グラフィックデザイン 杉田豊、立体作品 土谷武

【受賞者】 洋画 特選 川崎太一、島田香代、山脇賞 森元律、奨励賞 島田香代、加藤博史、上原祐基、上田奈保、山本幸一、田井清香、川島明、安田順、山崎千鶴、飯谷薫、小島薫、平田慎一、末田光一、加藤勝久、祖父江建樹、友村智恵、日本画 特選 上田明德、奨励賞 深瀬綾子、松本美枝、雅彦、山崎紀代美、吉松秀美、深瀬綾子、松本美枝、彫塑 特選 金子臣宏、奨励賞 氏次容子、森節子、小野寺るか、氏次容子、工芸 特選 島田瞳、篠原速都、奨励賞 山本祐市、古谷知子、中原寿子、半田喜久男、森洋、山本祐市、古谷知子、中山とも子、松島世賜恵、橋村一彦、柴田多賀子、中山とも子、書道 特選 吉村文子、岩貞大容、和田大康、川谷碧雲、特選 岩河秀水、奨励賞 永吉富美、北代碧山、田内桜霞、大野多枝子、上岡白雨、三好琴美、橋田影月、三宅冬花、谷口桃園、西岡桂翠、都築墨朋、内川道子、三浦映泉、永吉富美、早田晋三、池田晃雲、賞 小笠原隆、褒状 小松忍、小笠原隆、山脇博之、片岡紀子、黒川三三、三宮信好、高松定寿、桑名源、井関拓、中村静、黒澤誠、横矢実穂、山本幸雄、木戸誠吉、澤田章、坂東政雄、谷脇芳、白木友則、三宮健秀、坂本洋一、グラフィックデザイン 特選 山本提、奨励賞 山本提、褒状 中村貢、本久恵美子、安居宏憲、狩野信見、宮田孝志、立体作品 特選 田崎義典、奨励賞 田崎義典、褒状 増田和剛、藤田成佳、信田英司

第50回(8年)

概要 搬入数は4千271点。入選、入賞は799点。入場者数は前期1万4千400人、後期1万8千100人。前期(洋画、書道、写真、工芸、立体作品)後期(洋画、日本画、彫塑、グラフィックデザイン)の二期制で開催された。洋画、写真の2部門では、出品規定に抵触、あるいは出品者のモラルが問われ、出品が問題となった。無鑑査に川崎太一(洋画)、上田明德(日本画)、篠原速都(工芸)。1月に田口吉明(写真、5月に北添直之(写真)、光本三千萬(書道)、7月に島村治文(彫塑)死去。

【会場】 県立美術館 前期 10月16日~10月27日 後期 10月27日~11月6日

【審査員】 洋画 宮崎進、日本画 滝沢具幸、彫塑 西常雄、工芸 長谷部満彦、書道 浅見錦龍、赤江華城、写真 植田正治、グラフィックデザイン 杉田豊、立体作品 土谷武

【受賞者】 洋画 特選 川崎太一、島田香代、山脇賞 森元律、奨励賞 島田香代、加藤博史、上原祐基、上田奈保、山本幸一、田井清香、川島明、安田順、山崎千鶴、飯谷薫、小島薫、平田慎一、末田光一、加藤勝久、祖父江建樹、友村智恵、日本画 特選 上田明德、奨励賞 深瀬綾子、松本美枝、雅彦、山崎紀代美、吉松秀美、深瀬綾子、松本美枝、彫塑 特選 金子臣宏、奨励賞 氏次容子、森節子、小野寺るか、氏次容子、工芸 特選 島田瞳、篠原速都、奨励賞 山本祐市、古谷知子、中原寿子、半田喜久男、森洋、山本祐市、古谷知子、中山とも子、松島世賜恵、橋村一彦、柴田多賀子、中山とも子、書道 特選 吉村文子、岩貞大容、和田大康、川谷碧雲、特選 岩河秀水、奨励賞 永吉富美、北代碧山、田内桜霞、大野多枝子、上岡白雨、三好琴美、橋田影月、三宅冬花、谷口桃園、西岡桂翠、都築墨朋、内川道子、三浦映泉、永吉富美、早田晋三、池田晃雲、賞 小笠原隆、褒状 小松忍、小笠原隆、山脇博之、片岡紀子、黒川三三、三宮信好、高松定寿、桑名源、井関拓、中村静、黒澤誠、横矢実穂、山本幸雄、木戸誠吉、澤田章、坂東政雄、谷脇芳、白木友則、三宮健秀、坂本洋一、グラフィックデザイン 特選 山本提、奨励賞 山本提、褒状 中村貢、本久恵美子、安居宏憲、狩野信見、宮田孝志、立体作品 特選 田崎義典、奨励賞 田崎義典、褒状 増田和剛、藤田成佳、信田英司

第51回(9年)

概要 搬入数は4千140点。入選、入賞は805点。入場者数は前期1万7千400人、後期1万9千400人。前期(洋画、書道、写真、工芸、立体作品)後期(洋画、日本画、彫塑、グラフィックデザイン)の二期制で開催された。洋画、写真の2部門では、出品規定に抵触、あるいは出品者のモラルが問われ、出品が問題となった。無鑑査に川崎太一(洋画)、上田明德(日本画)、篠原速都(工芸)。1月に田口吉明(写真、5月に北添直之(写真)、光本三千萬(書道)、7月に島村治文(彫塑)死去。

【会場】 県立美術館 前期 10月22日~11月3日 後期 11月12日~11月24日

【審査員】 洋画 宮崎進、日本画 滝沢具幸、彫塑 西常雄、工芸 長谷部満彦、書道 浅見錦龍、赤江華城、写真 植田正治、グラフィックデザイン 杉田豊、立体作品 土谷武

【受賞者】 洋画 特選 川崎太一、島田香代、山脇賞 森元律、奨励賞 島田香代、加藤博史、上原祐基、上田奈保、山本幸一、田井清香、川島明、安田順、山崎千鶴、飯谷薫、小島薫、平田慎一、末田光一、加藤勝久、祖父江建樹、友村智恵、日本画 特選 上田明德、奨励賞 深瀬綾子、松本美枝、雅彦、山崎紀代美、吉松秀美、深瀬綾子、松本美枝、彫塑 特選 金子臣宏、奨励賞 氏次容子、森節子、小野寺るか、氏次容子、工芸 特選 島田瞳、篠原速都、奨励賞 山本祐市、古谷知子、中原寿子、半田喜久男、森洋、山本祐市、古谷知子、中山とも子、松島世賜恵、橋村一彦、柴田多賀子、中山とも子、書道 特選 吉村文子、岩貞大容、和田大康、川谷碧雲、特選 岩河秀水、奨励賞 永吉富美、北代碧山、田内桜霞、大野多枝子、上岡白雨、三好琴美、橋田影月、三宅冬花、谷口桃園、西岡桂翠、都築墨朋、内川道子、三浦映泉、永吉富美、早田晋三、池田晃雲、賞 小笠原隆、褒状 小松忍、小笠原隆、山脇博之、片岡紀子、黒川三三、三宮信好、高松定寿、桑名源、井関拓、中村静、黒澤誠、横矢実穂、山本幸雄、木戸誠吉、澤田章、坂東政雄、谷脇芳、白木友則、三宮健秀、坂本洋一、グラフィックデザイン 特選 山本提、奨励賞 山本提、褒状 中村貢、本久恵美子、安居宏憲、狩野信見、宮田孝志、立体作品 特選 田崎義典、奨励賞 田崎義典、褒状 増田和剛、藤田成佳、信田英司

第52回(10年)

【概要】搬入数は4千11点。入選、入賞は804点。入場者数は前期1千600人、後期1万1千1階が水没。開催中の前期展(工芸、書道、写真、立体作品)の選外作品も含め1千953点が被奪を受けた。年を越して後期展(洋画、日本画、彫塑、グラフィックデザイン)は、前期後期展が開催されることとなった。復活展では31点が不出品となったが56点が再出品され、復活展の熱意を再確認した。岡山県立美術館で6県交流美術展が開催され、県展から特選受賞作品などが参加した。無鑑査に武内光仁(洋画)、市川雅彦(日本画)井関拓(写真)。

【会期】前期 9月23日、24日 後期 11月12日、13日、24日 復活展 平成11年1月29日、2月7日 県立美術館(後期) 復活展は常設展示室も使用

【審査員】洋画 池田龍雄、日本画 上村淳之、彫塑 松本直人、竹本次男、大野良一、橋本和康、小野貞秋、西本忠男、工芸 白石和己、書道 東地澹、金子卓義、写真 竹内敏信、グラフィックデザイン 仲隆三、森本忠彦、松井大洲、竹内研介、手島健司、立体作品 菅木志雄

第53回(11年)

【概要】搬入数は3千973点。入選、入賞は807点。入場者数は前期1万5千人、後期1万4千200人、前期展(工芸、書道、写真、立体作品)後期展(洋画、日本画、彫塑、グラフィックデザイン)の二期制で開催された。無鑑査に久保田景泉(洋画)、加藤和香(書道)、藤田威佳志(立体作品)。4月に片木太郎(洋画)死去。

【会期】前期 9月23日、24日 後期 10月13日、24日 県立美術館

【審査員】洋画 田口安男、日本画 三谷青子、彫塑 松本直人、竹本次男、大野良一、橋本和康、小野貞秋、西本忠男、工芸 柳橋真、書道 野口白江、日比野光風、写真 齋藤康一、グラフィックデザイン 佐藤晃一、立体作品 河口龍夫

第54回(12年)

【概要】搬入数は3千916点。入選、入賞は811点。入場者数は前期1万5千人、後期1万4千200人、展示部門前期展(工芸、書道、写真、立体作品)後期展(洋画、日本画、彫塑、グラフィックデザイン)の二期制で開催された。無鑑査に大黒初代(洋画)、狩野信見(立体作品)。写真の部では県展初代女性審査員沼田早苗氏を迎える。書道の部では県内審査員5氏で初の点数制による審査が行われた。6月に片岡福光(洋画)死去。

【会期】前期 9月27日、28日 後期 10月18日、29日 県立美術館

【審査員】洋画 中野中、日本画 福井爽人、彫塑 松本直人、大野良一、小野貞秋、西本忠男、工芸 白石和己、書道 中川子暢、濱田尚川、大野祥雲、和田大康、加藤和香、写真 沼田早苗、グラフィックデザイン 仲隆三、森本忠彦、松井大洲、竹内研介、手島健司、立体作品 篠原資明

第55回(13年)

【概要】 搬入数は4千18点。入選、入賞は87点。

入場者数は前期1万2千500人、後期1万4千800人、展示部門、前期展(洋画、日本画、グラフィックデザイン、立体作品)後期展(彫塑、工芸、書道、写真)の二期制で開催された。55回展は新世紀初頭飾る記念展として出品者の中から全部門に特別賞「21世紀賞」を贈った。県展功労者として黒原和男、竹村文男、谷岡久、大平武夫、岩合泰治、古味秀友(故)、桑尾寿秋、小松豊栄、山本卓子、岡林流仙、並村菊子、西本倍崇、小野保、松木直人、竹本次男、吉岡弧石、五十嵐恭子、中平松鶴、矢野道子、川崎翠村、吉原果石、谷紅雀、安藤雀栖、畑山裕紀、松村一位、栗山福美、笹内政美、仲隆三の28氏を表彰。県華道協和会、裏千家淡交会青年部高知支部に感謝状を贈る。また第1回展から出展の横矢勝、北村文和の2氏に県美術振興会から「55回連続出展賞」を贈った。審査員は全部門県外から招く。無鑑査に川内悠溪(書道)。3月に桑尾寿秋(洋画)、5月に佐竹一七(写真)、6月に秦泉寺正一(工芸)死去。

【会期】 前期 10月10日、21日
後期 10月31日、11月11日

【会場】 県立美術館

【審査員】 ▼洋画 中野中 ▼日本画 小嶋悠司
彫塑 藤森民雄 ▼工芸 金子賢治 ▼書道 大溪洗耳、森本妙子 ▼写真 立木義浩 ▼グラフィックデザイン 秋山孝 ▼立体作品 南條史生

【受賞者】 ▼洋画 21世紀賞 永野泰弘 ▼特選 永野泰弘、指吸麻子、一井洋子 ▼山脇賞 鳥村悠 ▼奨励賞 指吸麻子 ▼褒状 川谷澄子、上岡洋介、三好好子、西森鬼、森田アキ子、中村啓次郎、永森佳子、窪内慎三、田内修子、岡田保志、徳弘良文、田中耕二、寺尾立子、吉田光男、北川規子 ▼日本画 21世紀賞

荒木陽一 ▼特選 荒木陽一 ▼奨励賞 永橋みさ子 ▼褒状 土居恒夫、田村泰子、武植恵美、永橋みさ子、恒石愁子 ▼彫塑 21世紀賞 大野匠 ▼特選 井上香二 ▼奨励賞 狩野信児 ▼褒状 小野寺るか、狩野信児、金子臣宏 ▼工芸 21世紀賞 窪田七男生 ▼特選 西森和美、窪田七男生 ▼奨励賞 西森和美 ▼褒状 大原満利子、戸梶敬子、郷本侑里、瀬川博子、野村晴喜、清水史子、池田俊子、坂本眞生、野村紀文、川村泰英 ▼書道 21世紀賞 川内草玲 ▼特選 川内悠溪、川内草玲、坂本扇翠 ▼川谷横雲賞 田村知代 ▼奨励賞 川内草玲 ▼褒状 岡林郁、大原彩月、島村泰子、竹内昌子、谷勝美、町田碧峰、耕崎水葉、西森節子、深田小芹、井上悠葉、刈谷禮子、谷淵龍翠、中田九外、柳井具江、尾崎彩河 ▼写真 21世紀賞 門田卓也 ▼特選 明坂吉男、門明福義、門田卓也 ▼奨励賞 門明福義 ▼褒状 岡林裕子、大利京子、濱田泰弘、氏原秀一、高松是寿、植田和子、岩郷緑、竹内晴明、浜岡勝行、小川あき、矢野憲秀、山本みつよ、中久保昌助、松岡卓英、海地和代、西本助児、和田哲十郎、竹内律二、富田喜信、秀島信恵 ▼グラフィックデザイン 21世紀賞 本久恵美子 ▼特選 本久恵美子 ▼奨励賞 岡村麻衣 ▼褒状 吉松正広、玉造義隆、岡村麻衣、萩野文一、山口紗矢香 ▼立体作品 21世紀賞 森田優子 ▼特選 森田優子 ▼奨励賞 秦泉寺徳恵 ▼褒状 内光仁、川崎康為、秦泉寺徳恵

第56回(14年)

【概要】 搬入数は4千223点。入選、入賞は1千50点。入場者数は両会場で2万9千300人。会場展示は、この年の春にオープンした高知市文化プラザ(洋画、日本画、彫塑、工芸、グラフィックデザイン、立体作品)6部門)と県立美術館(書道、写真)2部門)の2会場で9年ぶりの同時開催となる。県展功労者として宮地俊一郎、寺尾孝志、貞廣英明、橋本和康、中川子暢、濱田尚川、伊藤丘城の7氏を表彰。無鑑査に入交啓(洋画)。3月に谷紅雀(書道)、横田照生(彫塑)死去。

【会期】 10月18日、11月4日

【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ

【審査員】 ▼洋画 林紀一郎 ▼日本画 中路融人 ▼彫塑 松木直人、竹本次男、大野良一、小野貞秋、西本忠男 ▼工芸 北村文和、五十嵐恭子、西郷滋 ▼書道 小山やす子、新井光風 ▼写真 田沼武能 ▼グラフィックデザイン 仲隆三、森本忠彦、松井大洲、竹内研介、手島健司 ▼立体作品 都築房子、門田修充

【受賞者】 ▼洋画 特選 田島栄、土方佐代香、入交啓 ▼山脇賞 宮本亜由子 ▼奨励賞 土方佐代香 ▼褒状 石谷仇、影山昌美、藤本あかり、山中律、上岡洋介、伊与田尚子、伊藤信晃、加藤勝久、三好好子、国吉晶子、山本幸一、岡美美子、宇田幸正、寺尾立子、川島明 ▼日本画 特選 松岡和江 ▼奨励賞 松岡和江 ▼褒状 松本美枝、吉松秀美、亀田満喜代、吉田理、仙頭恵子 ▼彫塑 特選 小野寺るか ▼奨励賞 山本昭子 ▼褒状 山岡良仁、山本昭子、大野匠 ▼工芸 特選 西川ゆう子、吉光誠之 ▼奨励賞 野村ゆかり ▼褒状 岡本玲、野村ゆかり、庄崎裕之、川村雄二、福留亮子、沢村光子、田内政子、小澤修、小畑敦子、青木邦子 ▼書道 特選 安岡香葉、鍋島香江、助村明美 ▼川谷横雲賞 筒井恵川 ▼奨励賞 助村明美 ▼褒状 岡林起仙、柳井具江、池田陸子、長崎久子、西岡桂翠、竹村雀翠、長澤至宏、白木郁子、高見志香、森淑子、中平博子、出間桂堂、松本深泉、岡本明子、小川蒼舟 ▼写真 特選 野口務、田辺哲郎、片岡豊 ▼奨励賞 片岡豊 ▼褒状 西内邦彦、山辺福美、山崎静香、杉内幸雄、伊与木裕当、山本峰子、田内喜美子、川村邦夫、大久保政清、山本たえ、大崎賀代子、森浩二、計屋孝子、谷田昌水、吉村有加、貞広孝一、竹中浩、東富晋幸、公文正昭、田中穰 ▼グラフィックデザイン 特選 出水華代 ▼奨励賞 西村公記 ▼褒状 坂本晶子、西村公記、中島正司、広川敏之、山本堤 ▼立体作品 特選 田村建士 ▼奨励賞 山下美代子 ▼褒状 高木友香、山下美代子、朝比奈富美男

第60回(18年)

【概要】搬入数は3千648点。入選、入賞は1千、90点。高知市文化プラザでは彫塑、工芸、書道、写真、洋画、日本画、立体作品の3部門を同時展示、入場者数は2会場合計で2万9千41人。60回記念として無鑑査、推薦も含めた作品の中から選ぶ県展大賞を特設。グラフィックデザイン部門では山六郎賞、また全部門で新人賞を新設するなど規則、運営要綱を一部改正。県展功労者として森本忠彦、竹村明夫、島村義一、志、右崎勇、松井大洲、都築房子の12名を表彰。審査員は全部門別から招く。無鑑査に田島栄(洋画)、荒木陽一(日本画)、吉村文子(書道)、3月に和田薫(日本画)、栗山福美(写真)、8月に矢野道子(書道)、10月に楠本正直(洋画)、11月に畑山裕紀(写真)死去。

第61回(19年)

【概要】搬入数は3千616点。入選、入賞は1千93点。入場者数は2会場合計で2万6千161人。高知市文化プラザでは彫塑、工芸、書道、写真、グラフィックデザイン、5部門、県立美術館では洋画、日本画、立体作品の3部門を展示、2会場で同時開催した。県展殿堂を開設し、本展の支柱となられた功労者・中村博山脇信徳、田岡秋郎(本名耕作)の3氏が殿堂入り。県立美術館に3氏のレリーフ、作品を展示する。無鑑査に吉光誠之(工芸)、出水華代(グラフィックデザイン)。8月に吉原栄石(書道)、12月に寺尾孝志(洋画)死去。

第62回(20年)

【概要】搬入数は3千593点。入選、入賞は1千97点。入場者数は2会場合計で2万5千160人。「彫塑」から「彫刻」へ部門名を変更した。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザイン、5部門、県立美術館では洋画、日本画、立体作品の3部門を展示、2会場で同時開催した。無鑑査に川村雄二(工芸)。4月に伊藤丘城(書道)、5月に大野敦英(写真)、10月に洋画審査員で元理事長の筒井広道(洋画)死去。

第63回(21年)

概要 搬入数は3千600点。入選、入賞は1千99点。入場者数は2会場合計で2万3千67人。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、立体作品の3部門を展示、2会場で同時開催した。多大な功績のあった作家を顕彰する「県展殿堂」に山本茂一郎、筒井広道、2氏が殿堂入りした。洋画部審査員は19年に濱口の県内審査員となり5氏で行った。無鑑査に笹岡義彦(洋画)、堀内理香(洋画)、川村泰英(工芸)。5月に濱口富治(洋画、福原云外(書道)、7月に松村一位(写真)、9月に中平松鶴(書道)、12月に川崎翠村(書道)死去。

会期 10月9日、25日

会場 県立美術館、高知市文化プラザ

審査員 洋画 竹村文男、吉井英二、岩合泰治、貞廣英明、末田光一、日本画 西田俊英、彫刻 大野良一、松木直人、山岡良仁、工芸 北村文和、五十嵐恭子、西郷滋、書道 黒野清宇、石飛博光、写真 小松健一、グラフィックデザイン 森本忠彦、松井大洲、竹内研一、立体作品 門田修允、入交京子、受賞者 洋画 上岡洋介、笹岡義彦、堀内理香、山脇賞、福山淳哉、褒状 田井清賢、西森見、山中貞巳、川島のりこ、濱崎秀嗣、安岡恵子、土居満夫、藤本あかり、森尾寛、松田征史、角田美和、山崎典子、茨木富子、溝淵裕泉、徳弘あずさ、新人賞 大山圭成、日本画 特選 八木真理子、褒状 越智明美、田部美代子、長野一心、勝賀野富子、松井芳美、彫刻 特選 山崎恭子、褒状 小野寺か、田健次郎、前出捷子、工芸 特選 川村泰英、田内豊子、褒状 西川ゆう子、庄崎裕之、長瀬文恵、福永礼子、西郷出、宮崎美智子、西田宣生、近森けい、弘田由、中屋清子、新人賞 岩原有里、書道 特選 伊橋正一、森淑子、井上輝月、川谷横雲賞、原土風、褒状 宮崎兼代、井上愛羽、藤崎裕水、藤田紅子、山下楓月、田中白燦、常光雨江、矢野彩河、山下香蘭、玉井朝子、白木郁子、今橋漢雪、尾崎秘阿、宮地千歳、山口白花、新人賞 中村美美、写真 特選 杉野節子、井上巧、橋本豊喜、褒状 伊藤橋本、森本一宏、岡田加代子、島本葉子、岡村正彦、小松明義、池澤綾、杉野満夫、和田唯由、大野建夫、新田澄雄、芝速三、前田三興、小橋一友、池昌晃、松本時夫、東富晋幸、森本忠純、安藤キヌ子、新人賞 宮崎徳之輔、グラフィックデザイン 特選 宮川優希、山六郎賞、尾立佐保子、褒状 下元貴心、坂本晶子、武政純代、横飛弘、山本堤、新人賞 細川彩乃、立体作品 特選 高木友香、褒状 川崎康為、中島由貴、吉松無字、新人賞 石見陽奈

第64回(22年)

概要 搬入数は3千678点。入選、入賞は1千99点。入場者数は2会場合計で2万3千91人。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、立体作品の3部門を展示、2会場で同時開催。今回から写真部門の搬入をパネル作品からプリント作品に変更した。無鑑査に濱崎秀嗣(洋画)、片岡篤信(彫刻)。2月に横矢勝(洋画)、山本卓子(日本画)死去。

会期 10月8日、24日

会場 県立美術館、高知市文化プラザ

審査員 洋画 玉川信一、日本画 浅野均、彫刻 大野良一、松木直人、山岡良仁、工芸 北村文和、五十嵐恭子、西郷滋、書道 仲川恭司、高木厚人、写真 小松健一、グラフィックデザイン 森本忠彦、手島健司、出水華代、立体作品 都築房子、藤田成佳志、受賞者 洋画 樋口孝子、平田慎一、濱崎秀嗣、山脇賞、沖本浩、褒状 中園健、中村啓次郎、中谷政勝、水野厚男、曾我郁子、森下嘉晴、田中一好、横山ひろこ、吉松由宇子、岡村博子、赤崎省作、野町睦、安藤義孝、藤本あかり、福山淳哉、新人賞 小松サヤ、日本画 特選 越智篤史、褒状 越智明美、八木明、松本慶雄、山田恵美、長野一心、新人賞 中尾泰斗、彫刻 特選 片岡篤信、褒状 中山恵子、吉岡郷継、小野寺か、新人賞 田中雄斗、工芸 特選 長岡さつき、青木邦子、褒状 小笠原浩一、西川ゆう子、庄崎裕之、野村ゆかり、近森けい、西岡璋子、西田宣生、濱口慧、野村知、西郷出、新人賞 久川創、書道 特選 長瀬恵美、玉井朝子、森下照堂、川谷横雲賞、甲藤方外、褒状 福原曉雲、藤田紅子、松上紫香、白木郁子、三浦映泉、上岡白雨、田中白燦、上田操、島村長舟、柳葉清風、藤岡傳三郎、金子真江、山本智子、伊与田玉泉、北代碧山、新人賞 大崎海弘、写真 特選 西尾昌高、浅田千代子、和岡徳恵、褒状 芝速三、松本宣博、竹内裕子、入交貞悦、井上宏、岡本幸子、大野享介、有澤正光、川浩彰、武田啓宏、恒石節子、山下美代子、吉横山幸代、西森芳一、国実博、東富晋幸、川添浩介、春田序典、矢野憲秀、グラフィックデザイン 特選 末政左代子、山六郎賞、呂操、褒状 池知隆、山本堤、小松和代、渡辺雅子、朝比奈富美男、新人賞 徳平瑠子、立体作品 特選 内川和子、褒状 中尾敏幸、尾崎匠、樋口慶子、新人賞 黒岩也咲

第65回(23年)

概要 搬入数は3千850点。入選、入賞は1千103点。入場者数は2会場合計で2万3千724人。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、立体作品の3部門を展示、2会場で同時開催。先づ美術館に「県展殿堂」を設け、入賞作家の功績を顕彰する。審査員は全部門で行った。洋画部審査員は19年に濱口の県内審査員となり5氏で行った。無鑑査に濱崎秀嗣(洋画)、片岡篤信(彫刻)。2月に横矢勝(洋画)、山本卓子(日本画)死去。

会期 10月7日、23日

会場 県立美術館、高知市文化プラザ

審査員 洋画 竹村文男、吉井英二、岩合泰治、貞廣英明、末田光一、日本画 西田俊英、彫刻 大野良一、松木直人、山岡良仁、工芸 北村文和、五十嵐恭子、西郷滋、書道 黒野清宇、石飛博光、写真 小松健一、グラフィックデザイン 森本忠彦、松井大洲、竹内研一、立体作品 門田修允、入交京子、受賞者 洋画 上岡洋介、笹岡義彦、堀内理香、山脇賞、福山淳哉、褒状 田井清賢、西森見、山中貞巳、川島のりこ、濱崎秀嗣、安岡恵子、土居満夫、藤本あかり、森尾寛、松田征史、角田美和、山崎典子、茨木富子、溝淵裕泉、徳弘あずさ、新人賞 大山圭成、日本画 特選 八木真理子、褒状 越智明美、田部美代子、長野一心、勝賀野富子、松井芳美、彫刻 特選 山崎恭子、褒状 小野寺か、田健次郎、前出捷子、工芸 特選 川村泰英、田内豊子、褒状 西川ゆう子、庄崎裕之、長瀬文恵、福永礼子、西郷出、宮崎美智子、西田宣生、近森けい、弘田由、中屋清子、新人賞 岩原有里、書道 特選 伊橋正一、森淑子、井上輝月、川谷横雲賞、原土風、褒状 宮崎兼代、井上愛羽、藤崎裕水、藤田紅子、山下楓月、田中白燦、常光雨江、矢野彩河、山下香蘭、玉井朝子、白木郁子、今橋漢雪、尾崎秘阿、宮地千歳、山口白花、新人賞 中村美美、写真 特選 杉野節子、井上巧、橋本豊喜、褒状 伊藤橋本、森本一宏、岡田加代子、島本葉子、岡村正彦、小松明義、池澤綾、杉野満夫、和田唯由、大野建夫、新田澄雄、芝速三、前田三興、小橋一友、池昌晃、松本時夫、東富晋幸、森本忠純、安藤キヌ子、新人賞 宮崎徳之輔、グラフィックデザイン 特選 宮川優希、山六郎賞、尾立佐保子、褒状 下元貴心、坂本晶子、武政純代、横飛弘、山本堤、新人賞 細川彩乃、立体作品 特選 高木友香、褒状 川崎康為、中島由貴、吉松無字、新人賞 石見陽奈

第66回(24年)

【概要】 搬入数は3千740点。入選、入賞は1千153点。入場者数は2会場合計で2万3千87人。先端美術(立体)から先端美術へ部門名を変更した。写真部門で、パネルサイズを全紙までとして、入選数を50点増やし、特選を1点増とした。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザイン、ポスターデザイン、先端美術の3部門を同時開催。ポスターデザインには、香南市在住の山西典夫氏(写真)が就任。理事長に森本忠彦(洋画・グラフィックデザイン)が就任。無鑑査に杉野節子(写真)。8月に竹村晴夫(洋画)死去。

【会期】 10月5日、21日
【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ
【審査員】 洋画 山本貞、田淵俊夫、彫刻 大野良一、松本直人、山岡良仁、工芸 白石和己、書道 星弘道、清水透石、写真 英伸三、グラフィックデザイン 松井大洲、竹内研介、手島健司、先端美術 明和電機

【受賞者】 洋画 特選 水野厚男、太田星美、福山淳哉、山脇賞、森本智香男、褒状 徳弘涼、田井清賀、中山明、浪越綾、宮尾裕文、立田晃一、出水華代、藤本あかり、矢野利平、平田慎一、吉井久子、尾崎浩史、上田典子、阿部裕子、細川悠貴、新人賞 前田怜穂、日本画 特選 長野豊秋、褒状 松岡和江、津田美保、越智篤史、越智明美、大谷玲子、新人賞 津森祐樹、彫刻 特選 矢野恵司、渡辺一八、大賞 岡崎明日香、褒状 阿部鉄太郎、山田健次郎、田中雄斗、新人賞 三間富久美、工芸 特選 山崎昭八郎、西郎出、褒状 高橋千恵子、小松みな子、中内君代、澤修、福永礼子、小松美代、小松みな子、中内君代、岩本佐代、田村晴彦、書道 特選 西村紅葉、三浦映泉、弘田理、川谷横雲賞 林清水、褒状 三谷好子、森田千晶、高村長舟、藤田紅子、吉田美玖、高見志香、柏原敬子、田内桜霞、岡林御舟、間抱心、米津有舟、坂本大龍、山本智子、福原曉雲、松本深泉、写真 特選 武内章浩、戸田武男、岡田孝之、杉野節子、褒状 北村健三、石元敦夫、山脇勉、野口務、久保一、公文正昭、栗山靖夫、北岡香子、戸根忠俊、竹内裕子、野島幸代、小松昭三、岡村和寿、河野彰子、杉野満夫、西村景介、岡村弘之、松岡卓、松岡卓英、島村実那、グラフィックデザイン 特選 小松和代、山六郎賞 吉岡一洋、褒状 井上直子、西村公記、浜田啓、末政左代子、箭野かおり、新人賞 田村太、先端美術 特選 高木友香、褒状 矢野園子、西本幸雄、武内信親、新人賞 丸岡敬子

第67回(25年)

【概要】 搬入数は3千608点。入選、入賞は1千157点。入場者数は2会場合計で2万1千747人。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示し、2会場で同時開催。ポスターデザインには、高知市在住の田島正剛氏(写真)が選考された。無鑑査に和徳徳(写真)、山本堤(グラフィックデザイン)。4月に岡林流仙(日本画)、10月に吉岡弧石(工芸)、田中白歩(書道)死去。

【会期】 10月4日、20日
【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ
【審査員】 洋画 智内兄助、日本画 上村淳之、彫刻 北郷悟、工芸 北村文和、西郷滋、吉光誠、川村雄二、川村泰英、書道 石飛博光、岩永栖那、写真 米美知子、グラフィックデザイン 廣村正彰、先端美術 川浪千鶴

【受賞者】 洋画 特選 森下嘉晴、森憲一、中居昭二郎、山脇賞、谷口總一郎、褒状 尾崎浩史、浜田直美、瀧石公子、野町睦、横山ひろこ、松木芳子、角田美和、中園健、安岡恵里子、茨木富子、曾我郁子、見元玄尚、上岡洋介、玉造義隆、森本智香男、新人賞 森下真帆、日本画 特選 田村泰子、褒状 中沢猛男、吉田昭彦、高橋朋子、高岡真由子、越智篤史、彫刻 特選 阿部鉄太郎、渡辺一八、大賞 宮尾信一、褒状 橋田三知、西村頭、宗石葉子、新人賞 前田幸来、工芸 特選 植野勝子、岡崎正、褒状 中屋登志枝、青木邦子、竹村章、福永礼子、重山和子、庄崎裕之、楠本はるみ、福留亮子、西田宣生、西川ゆう子、新人賞 樋口あゆみ、書道 特選 竹内昌子、吉田美玖、久保雲涛、川谷横雲賞 岡崎昂、褒状 横本信枝、大谷桂舟、弘田幽仙、山本智子、藤田紅子、島村長舟、松田紅嶺、柿葉梢風、岡林起仙、岩崎挽峰、川口多津、中川照月、白木郁子、門田みつ、野並久子、写真 特選 和田徳惠、中内敏男、明石正、中川智博、褒状 朝日義夫、川添進一、都積寛、東富晋幸、武本律代、入交貞悦、渡辺絹子、友永泰弘、芝速三、西森芳一、辻慶二、秀島信恵、安藤正一、横田好子、小松雄二、新人賞 谷果菜、グラフィックデザイン 特選 山本堤、山六郎賞 大西絵里、褒状 西村公記、池知隆、朝比奈富美男、吉川幸恵、長頭静、新人賞 茨木美香、先端美術 特選 橋本雅、褒状 中尾敏幸、石見陽奈、小松サヤ、新人賞 浦中元輝

第68回(26年)

【概要】 搬入数は3千472点。入選、入賞は1千163点。入場者数は2会場合計で2万1千796人。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示し、2会場で同時開催。会期中、彫刻部門では、作品に触れて楽しむコーナーを設け、来場者の関心を引いた。会期4日目の13日、台風19号が高知市に上陸、1日休館とした。ポスターデザインには、高知市在住の水口真侑氏(写真)が選考され、この年から賞金5万円が贈られた。無鑑査に青木邦子(工芸)。3月に五十嵐恭子(工芸)、7月に大西清澄(先端美術)死去。

【会期】 10月10日、26日
【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ
【審査員】 洋画 遠藤彰子、日本画 竹内浩一、彫刻 大野良一、松本直人、小野貞秋、西本忠男、山岡良仁、工芸 唐澤昌宏、書道 池田桂鳳、片岡重和、写真 桑原史成、グラフィックデザイン 森本忠彦、松井大洲、出水華代、先端美術 やなぎみわ

【受賞者】 洋画 特選 戸田龍三、上岡洋介、尾崎浩史、山脇賞 西本幸雄、褒状 酒井久子、瀧石公子、田村三枝、山下春代、中園健、松木芳子、池地幹子、徳弘涼、佐竹茂、安藤義孝、森本智香男、浜田直美、川島明、荒川加代、新人賞 益岡美妃、日本画 特選 國弘昭、褒状 松井芳美、川村芳子、林智子、八木真理子、大場真美、新人賞 坂本聖斗、彫刻 特選 山脇善、渡辺一八、大賞 中野富美子、褒状 山崎恭子、山田健次郎、前田捷子、工芸 特選 青木邦子、西田宣生、褒状 西川ゆう子、山口光男、竹村章、小松晶、澤本和子、西森和美、間靖子、小谷桂代、高柳竜彦、大西誠、書道 特選 福原曉雲、中岡祥舟、植田美智子、川谷横雲賞 柳川櫻月、褒状 松岡花緒、森下照堂、松本深泉、山崎慎也、森知美香、佐々木和子、長崎久子、坂本春瑛、橘華華、岡井恭子、中平博子、朝倉希代子、畑山年子、中屋松雲、竹森桂翠、新人賞 坂本龍成、写真 特選 杉内幸雄、岡本國男、野島幸代、三宮洋子、褒状 八井田紀美、宮地知佐、都積寛、小笠原長敬、美崎節典、寺田秀章、高元慶子、武田啓愈、下元将司、川西輝道、保本喜美、池知隆、河野彰子、佐竹福馬、岡村雄策、片岡光、有澤正光、南愛、野口務、宮本隆義、新人賞 吉田将英、グラフィックデザイン 特選 下元貴心、山六郎賞 黄治宇、褒状 横飛弘、末政左代子、箭野かおり、坂本晶子、高橋玲子、新人賞 池上拓磨、先端美術 特選 池内卓也、褒状 内川和子、朝比奈富美男、上田星那、新人賞 浜崎真位

第69回(27年)

【概要】 搬入数は3千416点。入選、入賞は1千158点。入場者数は2会場合計で2万2千59人。高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示し、2会場で同時開催。県展殿堂に光本三千萬が加わる。徳久茂氏が写真とグラフィックデザインの2部門で特選を受賞。36年ぶりの快挙となった。ポスターデザインには、いの町出身の三谷直樹氏の作品が選考された。無鑑査に越智篤史(日本画)、川村洋平(彫刻)、西邨出(工芸)、徳久茂(写真)。10月に加藤和香(書道)死去。

【会期】 10月9日、25日

【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ

【審査員】 洋画 佐藤泰生 日本画 松村公嗣

彫刻 深井隆 工芸 北村文和 西邨滋 吉光誠之

書道 吉川蕉仙、日比野実 写真 蜂須賀芳紀、グラフィックデザイン 松永真 先端美術 川浪千鶴

【受賞者】 洋画 特選 田島美和、藤山千咲、上島豊正 山脇賞 白石和子 褒状 佐竹茂、松田征史、出水華代、岡本秀子、平松瑞加、西森晃、寺尾立子、平田慎一、長崎百合子、和田通博、伊与田尚子、木村正寛、赤崎省作、川島明 日本画 特選 越智篤史 褒状 若瀬夏歩、松木芳子、田部美代子、二宮多恵子 松岡和江 新人賞 武田円霞 彫刻 特選 川村洋平 渡辺一八大賞 三谷みどり 褒状 片岡孝太、西村顕、中山恵子 工芸 特選 西邨出、近森けい子 褒状 西川ゆう子、庄崎裕之、植野勝子、沢村光子、中平文江、植木栄造、大西史子、高柳竜彦、重山和子、崎山沙耶香 書道 特選 岡林御舟、森本感舟、橋田影月 川谷横雲賞 土居典子 褒状 今橋溪雪、白木郁子、本吉柏郎、酒井暁、川村香敬、藤田紅子、西岡桂翠、三浦映泉、鎌永、吉田美玖、武知一恵、前田雪花、山本智子、藤村瑠紀、玉井朝子 写真 特選 徳久茂、川西輝道、入交貞悦、辻慶二 褒状 杉野満夫、井上雅次、尾上照子、山崎愛子、滝石一彦、田中一郎、平井すみえ、藤田威佳志、松木宣博、岡村昌之、安藤キヌ子、宇田正則、山西典夫、田村勇勝、横山豊、清藤尚美、川田常人、横山正富、國澤武司、戸田 武男 新人賞 井上颯 グラフィックデザイン 特選 徳久茂 山六郎賞 三谷直樹 褒状 古谷幸生、池知隆、渡辺雅子、黒岩亜美、吉岡一洋 新人賞 川島奈緒 先端美術 特選 大西五郎 褒状 朝比奈富美男、武市誠一郎、高木友香

第70回(28年)

【概要】 搬入数は3千609点。入選、入賞は1千169点。入場者数は2会場合計で2万2千226人。高知市文化プラザかるぽーとでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示し、2会場で同時開催。審査員は全部門、県外審査員で行った。県展功勞者として、武内光仁、田島栄、笹岡義彦、市川雅彦、上岡小夜子、和田大康、竹内研介、入交京子の8氏を表彰。70回展を記念として無鑑査、推薦も含めた作品の中から選ぶ県展大賞を特設。全展示作品(審査員は除く)各部門ごとに1点印象に残った作品に投票する「県展ギャラリイ賞」を新設。30代以下の本展入賞、入選作家を対象とした「県展選抜作家展」を香美市立美術館で、1月に開催。ポスターデザインには、高知市在住の田島正剛氏の作品が67回展に続き選考された。無鑑査に上岡洋介(洋画)、西田宣生(工芸)。6月に松木直人(彫刻)、西本忠男(彫刻)死去。

【会期】 10月7日、23日

【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ

【審査員】 洋画 加藤勝久 日本画 平山英樹

彫刻 藤森民雄 工芸 金子賢治 書道 仲川恭司、高木厚人 写真 小松健一 グラフィックデザイン 今村昭秀 先端美術 榎忠

【受賞者】 県展大賞(洋画) 田島栄(日本画) 越智篤史(彫刻) 大野良一(工芸) 北村文和(書道) 高橋雨香(写真) 篠原真弥(グラフィックデザイン) 松井大洲(先端美術) 門田修充 洋画 特選 森本智香男、今崎順生、上岡洋介 山脇賞 廣瀬淳志 褒状 中村梅子、木村正寛、山下春代、中居昭二郎、角田美和、平田慎一、水野厚男、樋口孝子、多田登志代、出水華代、中園健、赤崎省作、藤本あかり、小松高志、

玉造義隆 新人賞 戸梶一輝 日本画 特選 森田幸 褒状 松木芳子、中沢猛男、浜田愛子、中尾泰斗、國弘昭 新人賞 竹村香名子 彫刻 特選 山田健次郎 褒状 岡崎明日香、山本容資、西村顕 工芸 特選 山崎昭八郎、西田宣生 褒状 浜田洋子、田村晴彦、西川ゆう子、池田俊子、小島薫、西村好喜、明神厚子、平田謙二、三本健助、永澤益男 新人賞 中平美紗子 書道 特選 笠井早苗、高橋雨香、上岡白雨、富岡豊英 川谷横雲賞 上田宏子 褒状 伊与田玉泉、眞明佳子、中岡祥舟、白木郁子、玉木麗紅、窪内雅子、公文雲梢、西村柏葉、小松美恵、庄崎芳心、小島卓莞、西内可々、坂本大龍、島村長舟、島山育子 写真 特選 篠原真弥、中川智博、芝速三、和田唯由、武市美和 褒状 森浩一、前田朱里、西尾昌高、市山秀明、杉野満夫、砂田紳一、池澤毅、戸梶昭雄、横山幸代、近藤若菜、竹内宏、谷智子、武政千秋、安藤正一、谷口八十美、田所睦三、西森芳一、恒石丹、河野彰子、朝日義夫 新人賞 川島美月帆 グラフィックデザイン 特選 玉造義隆 山六郎賞 堀翼 褒状 渡優花、池知隆、松島利華、筒井孝枝、畑山大貴 新人賞 喜多村愛美 先端美術 特選 吉松無学 褒状 池内卓也、井関さおり、川島明

第71回(29年)

【概要】 搬入数は3千450点。入選、入賞は1千142点。入場者数は2会場合計で1万8千362人。高知市文化プラザかるぼーとでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示し、2会場で同時開催。県展会館に濱口富治が加わる。審査員は、全部門、県外審査員で行った。ポスターデザインには、香南市在住の山西典夫氏の作品が66回展に続き選考された。無鑑査に中岡祥舟(書道)、入交貞悦(写真)。5月に片岡篤信(彫刻)、6月に高崎元尚(先端美術)、11月に竹村文男(洋画)死去。

【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ
【審査員】 洋画 鎌岡正謹 日本画 土屋禮一 彫刻 工藤健 工芸 外館和子 書道 真神魏堂 吉川美恵子 写真 蜂須賀秀紀 グラフィックデザイン 浅菜克己 先端美術 柳幸典
【受賞者】 洋画 特選 大崎みどり、南千代喜 水野厚男 山脇賞 川田達子 褒状 和田佳仁、今田京子、久万俊恒、西本幸雄、黒岩清、市村藤一、野町隆、森木雅子、平田慎一、川島明、尾崎浩史、山本幸一、吉岡寿子、西森晃、芝岡理恵 新人賞 尾崎仁保 木真理子、井上由美、中尾泰斗、竹村初江 新人賞 岩貞侑佳 彫刻 特選 岡崎明日香 褒状 山崎恭子、廣田勝宏、宮尾信一 工芸 特選 浜田洋子、濱田香代 褒状 小谷桂代、田村晴彦、伊勢脇島、濱口慧、平田謙二、福永礼子、三本健助、大崎裕文、竹高まり子、永澤益男 書道 特選 朝倉希代子、中岡祥舟、山崎慎也、吉田美玖 川谷横雲賞 岸野翠月 褒状 矢野秘舟、山本智子、助村明美、竹村鈴子、岩井英華、岡林御舟、菊地義洋、佐藤美子、玉井朝子、竹森桂翠、島村長舟、梅川桂龍、三浦映泉、森淑子、谷岡悦子 写真 特選 竹内晴明 玉野昌博、吉田道夫、松木宣博、入交貞悦 褒状 石元教夫、中山健、井上雅次、山沖恒光、西森貞由美、北村健三、杉野満夫、中川典子、田中一郎、井上巧、久保一、川村輝男、小松由典、野口務、有澤正光、辻慶二、岡林輝男、吉川俊一、宮地郁雄、藤田威佳志 新人賞 小原もも 褒状 グラフィックデザイン 特選 浜田啓 山六郎賞 高本紘佑 褒状 目代美和、上岡洋介、朝比奈富美男、祖父江建樹、徳久茂 新人賞 小松榛日 先端美術 特選 野町直文 褒状 井関さおり、丸岡敬子、吉川幸恵 新人賞 山本七菜

第72回(30年)

【概要】 搬入数は3千322点。入選、入賞は1千142点。入場者数は2会場合計で2万216人。高知市文化プラザかるぼーとでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示し、2会場で同時開催。審査員は全部門、県外審査員。搬入日に、大型で勢力の強い台風24号が本県に接近。搬入第一を考慮し、搬入1日目を4時間延長、2日目は中止とした。ポスターデザインには、佐川町在住の明神功武氏の作品が選考された。2月に黒原和男(洋画) 4月に西本倍宗(日本画)死去。

【会場】 県立美術館、高知市文化プラザ
【審査員】 洋画 遠藤彰子 日本画 宮北千織 彫刻 大西康彦 工芸 外館和子 書道 岡田契雪、師田久子 写真 三好和義 グラフィックデザイン 南仲坊 先端美術 黒瀬陽平
【受賞者】 洋画 特選 今崎順生、木村正寛、森本智香男 山脇賞 浜田啓 褒状 玉造義隆、山崎千鶴、池地幹子、荒川加代、池知學、武市博明、中山明、小島裕子、田村三枝、佐藤遼一郎、永野泰弘、茨木富子、平田慎一、樋口孝子、祖父江建樹 新人賞 田内泰生 日本画 特選 八木真理子 褒状 中山公高、江口初恵、石見陽奈、松井芳美、宗石葉子 彫刻 特選 西村顕 渡辺一八大賞 池内卓也 褒状 山田健次郎、廣田勝宏、松田敦子 新人賞 池澤優子 工芸 特選 岡崎壮、大西史子 褒状 植木栄造、櫻谷貴義、前田不二夫、山崎昭八郎、村岡純子、初田喜美、植野勝子、門田裕之、小谷桂代、大井佳代 新人賞 田村依里乃 書道 特選 玉井朝子、山本智子、檜垣秀風、岡林起仙 川谷横雲賞 杉村麗水 褒状 藤田紅子、小島卓亮、矢野秘舟、三谷好子、森淑子、沢田白洋、橋田影月、田内京子、西岡桂翠、小川香敬、嶋村幹子、竹内晴香、西野洋子、森本感真、小川蒼樹 写真 特選 杉内正、田村昌之、篠原真弥、西森文男、八井田紀美 褒状 八井田晋、弘田利文、久保田征子、小栗幹夫、山本咲月、山崎静香、中島年久、松岡善郎、森田三、芝速三、別役哲光、野島哲浩、辻慶二、川村香代 グラフィックデザイン 特選 西山裕輝 山六郎賞 三田卓実 褒状 渡辺雅子、倉松正明、上岡洋介、浦山永遠、別役京香 新人賞 太田晶規 先端美術 特選 朝比奈富美男 褒状 池田悠、公文雄二、大西映

第73回(元年)

【概要】 搬入数は3千256点。入選、入賞は1千157点。入場者数は前期7千407人、後期8千377人、合計1万5千784人。展示部門、前期展(彫刻、書道、写真、グラフィックデザイン)、後期展(洋画、日本画、工芸、先端美術)の二期制(県立美術館が耐震工事で休館)で開催された。審査員は全部門、県外審査員。各会期が短縮となったため開館時間を2時間延長の19時までとした。県内の中学生を対象に、書道・絵画を募集した「未来の県展作家たち」を開催し選ばれた作品306点を会場内に展示。ポスターデザインには、香南市在住の岡本守正氏の作品が選考された。2月に竹本次男(彫刻)、7月に山本堤(グラフィックデザイン)、12月に小野保(日本画)、恒石晃志(写真)死去。

【会場】 高知市文化プラザ
【審査員】 洋画 開光市 日本画 宮いつき 彫刻 吉野毅 工芸 白石和己 書道 山中翠谷、佐伯華水 写真 野町和嘉 グラフィックデザイン 岩崎友太郎 先端美術 椿昇
【受賞者】 洋画 特選 長沢楓、大崎安夫、島崎八州彦 山脇賞 谷萌乃香 褒状 池地幹子、永野泰弘、中内隆、廣瀬淳志、森下嘉晴、岡田神奈、山本幸一、赤崎省作、尾崎浩史、樋口孝子、佐竹茂、出水華代、寺尾立子、小島薫 新人賞 久保雅菜 日本画 特選 市川貴子 褒状 田部美代子、森田幸、大崎佐智、鍋嶋碧、松木芳子 彫刻 特選 横山善美 渡辺一八大賞 泉井史 褒状 岡崎明日香、中山恵子、吉岡郷継 工芸 特選 久川創、永澤益男 褒状 三宮要子、植野勝子、井上礼代、杉本征子、平田謙二、山本陽子、中屋登志枝、澤本和子、田村晴彦 書道 特選 山崎子鳳、大野多枝子、上岡白雨、植田美智子 川谷横雲賞 清遠瑞 褒状 岡林御舟、長瀬一真、橘黄華、横畑久美、矢野秘舟、山崎慎也、西内可々、前田智美、知原志津、吉田美玖、島村長舟、尾崎彩河、野口白花、藤田紅子、富岡豊英 写真 特選 武市美和、井田博文、杉野満郎、森本忠純、久保田昌也 褒状 岸田昌親、田中一郎、小川幸一、大窪征勝、横山幸代、川谷秀典、別役悦子、恒石丹、都積寛、秀島節子、安藤義雄、東敬子、田村勇勝、島元慶子、小松雄二、林正男、甲藤秀雄、小林哲夫、松本勝作、中澤都志子 新人賞 戸根安珠 美 グラフィックデザイン 特選 坂本阿綺子 山六郎賞 川島明 褒状 渡辺雅子、吉岡一洋、朝比奈富美男、下村彩乃、上岡洋介 先端美術 特選 中澤ふくみ 褒状 川島明、内川和子、池知隆

第77回(5年)

【概要】搬入数は2千847点。入選、入賞は1千092点。2年ぶりに2会場で同時開催し、高知市文化プラザでは彫刻、工芸、書道、写真、グラフィックデザインの5部門、県立美術館では洋画、日本画、先端美術の3部門を展示。前夜祭が廃止となり、会期初日に両会場でテーパーカットを行い開幕。会期は16日間で、入場者数は合計1万3千889人。ポスターデザインには、高知市在住の下元奏空氏の作品が選考された。無鑑査に三浦映泉(書道)。6月に山本梅尾(日本画)、7月に岡林御舟(書道)、9月に岩崎勇(写真)、11月に麻植瑋園(書道)死去。

【会期】10月7日、22日

【会場】県立美術館、高知市文化プラザ

【審査員】洋画 小林裕児 日本画 土屋禮一 彫刻 大西康彦 工芸 唐澤昌宏 書道 鈴木響泉、松井玉筆 写真 織作峰子 グラフィックデザイン 河地知木 先端美術 建島哲

【受賞者】洋画 特選 今崎香伶、千頭有里紗、中平さやか 山脇信徳賞 大崎安夫 褒状 水田貴士、平田慎一、朝比奈富美男、森下嘉晴、樋口孝子、松田征史、田岡稔、三上美智子、安藤義孝、出水華代、山下春代、岡田保志、須藤嘉彦、荒川加代、小松寧心

新人賞 坂本心愛 日本画 特選 大場真美 島内松南賞 浜田愛子 褒状 比江森美保、石見陽奈、森下真帆、松木芳子、田部美代子 彫刻 特選 増山隆子 渡辺一八大賞 門田学 褒状 宗石葉子、宮尾信一、松木淳子 工芸 特選 大西誠、片岡千牧 褒状 澤本和子、坂本町英、濱田哲彰、小松みな子、植野勝子、三宮要子、福島栄枝、國吉成世、北村卓也、村岡純子 書道 特選 白木郁子、中川聖龍、三浦映泉、杉本馨月 川谷横雲賞 濱田真巳 褒状 小松美恵、高橋伯鳳、森木冬紅、中川照月、松村静、曾我堯軒、竹森桂翠、高野小百合、山本智子、島本淑美、大山和歌子、竹内昌子、橋田影月、中屋松雲、百田昌子 写真 特選 竹内裕子、久保田征子、市川恭子、秀島信恵、大野建夫 褒状 川谷恭生、武市美和、川谷秀典、森本一宏、植田和、都積寛、山野上清久、吉田道夫、篠原真弥、下原玲香、西森京子、宮地知佐、森佐織、白木和夫、豊永美津江、小松雄二、秀島節子、西森芳一、島山雅子、大久保安子 新人賞 吉田桃子 グラフィックデザイン 特選 渡辺雅子 山六郎賞 河野愛佳 褒状 倉松正明、廣瀬さち、坂本阿綺子、大寺立志、朝比奈富美男 新人賞 山本日向汰 先端美術 特選 西本幸雄 高崎元尚賞 高木友香 褒状 内川和子、川島明、斎藤英男 新人賞 重稻世莉

山本日向汰 先端美術 特選 西本幸雄 高崎元尚賞 高木友香 褒状 内川和子、川島明、斎藤英男 新人賞 重稻世莉